

199

軍事警察雜誌 第二十五卷第三號附錄(昭和六年三月十日發行)

陸軍憲兵少佐 植木 鎮夫

歐洲諸國(獨伊波佛)憲兵警察制度

植木 鎮夫

0565

歐洲諸國(獨伊波佛)憲兵警察制度目次

第一編 總論

第二編 獨逸憲兵警察制度

第一章 憲兵

第一節 憲兵ノ編成

第二節 憲兵ノ補充

第三節 憲兵學校及教育

第四節 憲兵ト護國警察トノ協同

第五節 憲兵ニ對スル補助資金庫

第二章 獨逸一般警察制度

第一節 警察官廳

第二節 警察機關

第三節 警察官吏

第四節 檢事ノ補助官吏

第五節 警察官廳ノ編成組織

第六節 獨逸警察官ノ總人員

目次

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五 二六 二七 二八 二九 三〇 三一 三二 三三 三四 三五 三六 三七 三八 三九 四〇 四一 四二 四三 四四 四五 四六 四七 四八 四九 五〇 五一 五二 五三 五四 五五 五六 五七 五八 五九 六〇 六一 六二 六三 六四 六五 六六 六七 六八 六九 七〇 七一 七二 七三 七四 七五 七六 七七 七八 七九 八〇 八一 八二 八三 八四 八五 八六 八七 八八 八九 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇

0566

0287

第七節 警察官吏法

第八節 警察官ノ採用ト補充

第九節 護國警察官ノ昇進

第三章 獨逸警察教育制度

第一節 内務大臣直屬ノ教育機關

第二節 伯林警視總監所轄學校

第三節 州長官所轄ノ學校

第四章 獨逸航空及水上警察

第一節 航空警察ノ組織

第二節 航空警察ノ任務

第三節 航空警察官ノ採用及教育

第四節 水上警察隊

第五章 獨逸警察ノ特種施設

第三編 佛國憲兵警察制度

第一章 佛國憲兵制度

第一節	親衛憲兵	三
第二節	移動憲兵	三
第三節	州憲兵	三
第二章	佛國憲兵ノ教育制度	四
第一節	憲兵候補者教育	四
第二節	憲兵將校ノ教育	四
第三節	憲兵學校ノ教育課目	四
第三章	憲兵ノ監督管理及檢閱機關	五
第一節	憲兵局	五
第二節	憲兵檢閱機關	五
第四章	佛國警察制度ノ概要	六
第一節	警察ノ區分	六
第二節	警察ノ組織	六
第三節	警保局及巴里警視廳ノ組織	六
第四節	警察官ノ任用	六
第五節	警察官ノ教育	六
第六節	警察官ノ階級	六

目次

三

0360

0568

第四編 伊太利憲兵警察制度

第一章 憲兵

第一節 憲兵ノ歴史 三

第二節 憲兵ノ任務 四

第三節 憲兵ノ隸屬關係 四

第四節 憲兵ノ編制 五

第五節 空軍配屬憲兵 六

第六節 憲兵ノ補充 六

第七節 憲兵教育 七

第八節 憲兵學校教育課目 七

第二章 特種警察團

第一節 志願護民團(フアスチスト) 七

第二節 稅務警護隊 七

第五編 波蘭憲兵警察制度

第一章 憲兵制度

七

0569

歐洲諸國(獨伊波佛)憲兵警察制度目次畢

目次

五

第二章 波蘭警察制度	共
第六編 所 見	七

0570

歐洲諸國(獨佛)憲兵警察制度

陸軍憲兵少佐 植 木 鎮 夫

第一編 總論

大戰後國家及警察ノ任務ハ實質的ニ非常ノ増加ヲ招來セリ經濟思想及各種社會思想ノ發達ハ既ニ大戰直後ノ苦難時代ニ於テ
國家及警察ノ活動ヲ極度ニ要求セリ又文明ノ進展ハ國民教育、保健、學藝ノ助長、技術及研究ノ増進等ノ方面ニ幾多ノ新タ
ナル任務ヲ持チ來セリ予命ヲ帶ビテ昭和五年十月十八日東京ヲ發シ波蘭、獨逸、和蘭、英、佛、伯、埃、匈、智、瑞、伊、
西ノ諸國ヲ巡歴セルヲ以テ其ノ模範所ニ基キ歐洲諸國ニ於ケル比較的重要ナル警察施設ヲ概述セントス只夫レ警察ノ發達ハ
國民ノ性格、歷史上ノ發展、地理的狀勢、文化ノ程度、國法上ノ關係等ニヨリ夫々異ナルモノアルガ故ニ直チニ彼是比較論
斷スルコトハ必ズシテ妥當ニアラザルベク茲ニ列記ニ止メントスル所以ナリ

一、佛國 佛國ノ警察制度ハ過去ニ於テハ典型的ノモノナルコトハ何人モ異論ナキ處ナリ佛國ノ警察制度ヲ觀察スルニ當リ
注意スルモノハ佛國ノ種々テ農業ニ適スル氣候風土ヲ有シ其國境ハ頗ル國防上有利ニシテ國民ガ比較的同一種族ニ屬スル
點ナリ斯ガ理由ニヨリ佛人ハ夙ニ善ク國家權力ヲ統制セラレ佛國ノ政府及行政ハ嚴然タル中央集權ナリシ所以ハ一ツ
ニ此結果ナリ佛國ノ國民性及戰勝ノ結果ハ國民ヲシテ喜シテ強力ナル軍備ヲ整備セシメ軍隊ノ武勳ニ異常ノ憧憬ヲ有セ
シメテ其警察モ亦ダ全般的ニ觀察セバ佛國獨特ノ特質ニ合致ス其ノ制度ノ專斷的且絕對主義ハ極度ニ達シ爰ニ革命ヲ起

第一編 總論 第一章 警察ノ發達

一

0570

0571

シ憲法ヲ變革セシニ拘ラズ尙依然トシテ舊套ヲ脱スルヲ得ズ警察組織ハ國家ニ依ル嚴格ナル中央集權化及軍隊化ノ傾向ヲ表現シアリ大革命ノ結果地方分權トナリシ狀態ハ今日モ殘存シアリ唯夕實質ニ於テハ國家ハ各州ニ對シ國家ノ官吏タル地方長官ヲ通シ又各自治體ニ對シテハ大臣ノ任命スル警察員ヲ通シテ廣汎ナル監督權ヲ行使シアリ警察作用ハ現ニ巴黎及其他ノ重要都市ニハ國家ニヨリ行使セラル又國家ハ全國ニ亙リ憲兵、司法警察等何等地方的ニ拘束セラレザル國家警察網ヲ張りアルハ佛國ノ一大特質ト云ハザルベカラズ

二、英國 英國ハ佛國ト全ク其趣ヲ異ニス存時佛國トノ戰爭ニヨリ防禦能力ヲ有スルニ至リテヨリ大陸ノ戰爭ニ影響サル事ナク國民ハ徐々ニ發展シ風ニ國民トシテノ統一ヲ完成シ征服スベキ政治的教育及獨特ノ共存精神ニ到達セリ制海權ノ把握、經濟力、軍事力ニヨリ全世界ニ散在スル大英帝國ヲ創造シ内ニ於テハ廣汎ナル自治行政ニ安定スル國家組織及國民組織ヲ造リ此ノ保守的色彩ノ濃厚ハ極メテ鞏固ナル傳統トナレリ既ニ第十八世紀ニ於テ議會ノ權力ハ英國ヲ支配スルニ至リ不文憲法ニヨリ王國ヲ保持スルハ一ニ此ノ傳統ノ力ナリ英國警察モ亦此ノ事情ニ相應シ發達セルモノナリ國家ノ主權ハ其ノ傳統ト緊密ニ結合セラレ從テ警察ハ單ニ此主權ヲ維持スル手段タルニ過ギズ警察ノ任務ハ古來治安ノ確保ニ制限セラレアリキ事實ニ於テ警察ハ國民ノ機關ナリ蓋シ治安ノ確保ハ國民ノ感情ニ從フベキ事ニテ當然國民各個ノ專柄タルガ故ナリ國民ハ皆ラ警察機關トシテ此ノ任務ニ干與ス加之國家ノ重大ナル事態ニ於テハ自發的ニ警察上ノ目的ニ從事スルヲ申出ツ英ノ警察ハ組織上最下ノ自治單位町村ヨリ出發シ町村ハ警察官ヲ選出ス爾來一八二九年始メテ倫敦ニ國家ガ任命スル警察官ヲ創設シ之ニ倣ツテ地方及小都市ニ都市警察官ヲ創設スルニ至レリ彼等ハ裁判所ト連繫ヲ保チ司法作用ノ一部ヲ行フ地方的ニ監督ニ任ズルハ治安裁判官ニシテ國家ハ費用ノ半ヲ負擔ス營業警察、衛生警察、建築警察等ハ治安保持ニ關係ナキガ故ニ警察ニ屬セス從ツテ憲兵ノ如キモ單ニ兵營警察ノ範圍ヲ守リ大ナル發達ヲ見ズ

三、伊太利 此ノ組織ハ佛國ニ類似性ヲ有ス伊國ノ國家的統一ヲ完成セシハ最近ノ事ニ屬ス從ツテ治安維持ノ勤務ハ中央ニ統制セラル、必要切ナルモノアリ王國憲兵ハ陸軍兵科ニシテ全國的ニ配置セラレアリ國民ハ之ヲ以テ寧ろ國ノ誇リトシテアリ大都市ニハ更ニ都市警察アリ尙「ムツソリー」ノ政治軍隊タル志願護民兵アリ全國ニ於ケル新政治秩序ノ維持ニ

在リ其保安警察上ノ功績ハ著大ナルモ斯カル組織ハ強キ反動力ヨリ發生セシ強制警察ニシテ決シテ永續性ヲ有セズ一九一五年四月以來多少ノ改造ヲ見ツツアリ

四、填國 極メテ周到緻密ナル警察機關ヲ有ス大戦ノ戰禍ニ毅然トシテ耐ヘ其任務ヲ果セシ偉績ヲ有ス警察ハ其位置高ク國民ノ尊敬ヲ受ク從ツテ國家主權ノ支持者タルト共ニ國民ノ感情ノ支持者タリ其幹部ハ司法官トシテノ素養ヲ具ヘ其權限

モ廣大ナリ國家ハ結社、集會、演劇、營業、傳染病警察ヲ自己ニ保留スルノミニテ自治體ハ獨立シテ保安及秩序警察ニ當リ國家ノ委任ニヨリ司法警察ヲ執行ス但シ大都市ノ警察ハ國家ノ警察ニシテ自治體ノ警察ニアラズ首府維納ニハ警察

監督ト稱スル官廳アリ特ニ司法警察ヲ統一指揮ス此官廳ハ事實上全國ノ地方警察ノ警察ニアラズ首府維納ニハ警察

五、洪國 大戦ノ結果大ナル改革ヲ見タル國ニシテ大戦前ハ警察作用ヲ地方自治機關ニヨリ行ハレアリ國家警察トシテ單ニ

國境警察アリシニ過ギズ是レ洪國民ガ農業國民タルガ故ニシテ各都市モ面積廣ク大體ニ於テ農業都市タル色彩強キ當然

ノ結果ナリ大戦ノ激烈ナル影響ハ遂ニ一九一八年警察國家統一草案ノ上程トナリ革命ヲ經テ豫定計畫ニ基キ全警察ヲ國

家ニ收メ茲ニ國家統一ハ嚴格ニ遂行セラレ軍隊式ニ則リ各行政区劃ニ應ジテ警察ヲ配置シ地方警察官廳ハ同時ニ第一審

ノ裁判所タリ唯都市ノミニテ從來ノ公安警察ヲ存置セリ國家ハ又全國的ニ統一スル司法警察ヲ創設シ警察教育制度ハ大規

模ニ建設セラレ高級警察官ニハ司法官トシテノ素養ヲ與ヘラル

六、チエコスラヴァキヤ ニ於テモ自治體警察ガ國家的軍隊的警察ニ變化セリ是レ安寧秩序ノ維持ニ存セリ又新主權ノ創造

止此ノ必要ヲ見タルヲ將來此ノ國ノ警察ガ如何ニ發展スルヤハ問題ナリ

七、波蘭 戰等ノ結果新生セル此國ハ二ヶ國ガ消滅シテ一國ヲナスト共ニ從前ノ組織ヲ改メ新ニ創造セラレタル結果中央統

一警察組織色彩強キ國家警察ヲ組織セルハ必然ナラン波蘭ハ外ニ對シテハ國防ノタメ重キ軍備ヲ負擔シ内ニハ尙多クノ難

事ヲ控ヘナリ國民ト國家並ニ國民ト警察トノ關係ハ如何ニ發達スルヤハ問題ナリ

八、獨逸 大戦後共和國トナリ一九一九年八月十一日ノ憲法ハ獨逸國民ガ制定セルモノナリ大ナル中央集權ヲ認メアルト共

ニ各小國ニ廣大ナル獨立性ヲ與ヘアリ警察モ亦各聯邦ノ事務ナリ各聯邦ノ警察組織ハ同一ナラズ是レ各法律ノ基礎ヲ異

0573

ニスルガ故ナリ各聯邦都市ハ各趣ヲ異ニシ警察ノ法的根據ヲ法律ニヨルモノ命令又ハ單ニ慣習法ニヨルモノアリ警察行政ガ國家事務タルモノ或ハ地方自治體ノ事務タルモノアリテ中央統制ノ程度ニ差異アリ舊國家主權ノ崩壞ノ後公安及秩序ノ回復ノ目的ヲメ軍隊的ニ組織セラレタル自警團活動シ新國家主權ノ確立後ハ自警々察團ニ編成セラレ行政區劃ニ應ジ組織サレ之ニ並ンテ秩序警察地方ニ存在シアリシガ一九二〇年秋「ベルサイユ」條約ノ効力トシテ兩者ノ合一ヲ要シ總ニ護國警察ヲ生ジ憲兵ト相並ンテ制服執行警察官ニ全部合一セリ此ノ補充ハ國民中ノ青年ヨリ行ヒ國家ハ其教育ヲ行ヒ拜命後數年ニシテ始メテ單獨勤務ニ使用セラレ又國家警察ノ他ノ方面司法行政憲兵ニ轉職シ又全國自治體警察ノ補充ニ使用セラレ

以上ハ歐洲差遣中視察シタル各國ノ警察制度ノ概觀ナリ以下直接研究セル波蘭獨逸佛蘭西伊太利ノ現時各憲兵警察ノ制度ヲ記述ス英國警察制度ニ就テハ既ニ之ニ關スル各種ノ著書アルヲ以テ省略ス

第二編 獨逸憲兵警察制度

獨逸共和國現在ノ警察制度ハ稍々複雑ナルモ概括セバ護國警察隊主體ヲナシ憲兵、自治警察アリ任務上ヨリ區別スル時ハ航空、水上、司法等多様ナルモ以下其概要ヲ記述ス

第一章 憲兵 (Landjäger)

憲兵ハ千八百二十年ニ創設セラレ歐洲大戰後ハ其名稱ヲ存續セルモ陸軍ノ一兵科トシテ存在ニアラスシテ寧ロ國家警察ノ最モ優秀ナル一部トシテ尊重セラレアルハ其補充教育等ヨリシテ明ニシテ最モ精英ナル警察ト信ズ

第一節 憲兵ノ編成

一、内務大臣ハ憲兵ノ最高指揮權者ナリ縣下ノ監督及指揮ハ縣知事又郡下ノ監督及指揮ハ郡長ノ任ズル處ナリ

二、各郡ニハ警察務ノ第一線トシテ屯所 (Posten) 分駐所 (Amt) 分遣隊 (Abteilung) ノ配置アリ屯所ハ伍長又ハ軍曹ヲ長トシ其受持區域ハ郡長ヨリ郡ノ一部ヲ指定セラル分駐所ハ若干個ノ屯所 (平均四屯所) ヨリ成ル長ハ自ラ一個ノ屯所長ヲ兼ネ其下屯所ヲ監督シ古參軍曹ヲ以テ之ニ任ズ分遣隊ハ又若干ノ分駐所 (平均三乃至四) ヨリナリ分遣隊長之ヲ指揮シ郡長ヲ以テ之ニ任ズ一郡ニ數個ノ分遣隊アル時ハ郡憲兵長 (憲兵中尉) 之ヲ監督ス郡憲兵長ハ自ラ一分遣隊長トシテ事務ヲ執ルト共ニ郡長ノ訓令ニ基キ郡内全憲兵ノ業務ノ統一ニ關シ其責ニ任ジ郡内全憲兵ノ職務上ノ上官ナリ例外トシテ憲兵長トシテノ任務上其分遣隊ノ管轄ニ屬セザル他郡内ノ一部ヲ職務區域トスル事アリ

三、各縣ニハ一憲兵隊又ハ若干ノ憲兵隊ヲ置ク即チ一縣内ノ憲兵數少ナル時ハ合シテ一憲兵隊トスルモ兵力大ナルトキハ其數ニ應ジ若干個ノ憲兵隊ヲ作ル此ノ各憲兵隊ニハ高等監督勤務ノ官吏タル憲兵大尉以上ノ階級ヲ有スル憲兵將校ヲ以テ隊長トス平均一憲兵隊ノ兵力ハ百二十五名ニシテ隊長ハ部下ヲ指揮監督ス縣廳所在地ノ隊長ハ同時ニ憲兵事務ニ關シ縣知事ノ專門補佐官トス補佐官タル隊長ハ縣内憲兵ニ對シ最高監督權ヲ行使シ縣内全憲兵ノ職務上官トス隊長ハ屢々且ツ豫定ニ基キ其ノ管内ヲ巡視シ管内ノ事情ニ精通シ有効ナル勤務監督ヲ行フヲ要ス

四、憲兵經理監督局 全「プロイセン」ニ對シ職權ヲ有スル官廳ニ憲兵經理局アリ内務大臣ニ直屬ノ獨立官廳トス被服課會計課及ビ憲兵金庫ノ三課ヨリナル

五、憲兵ノ兵力及配置

隊名	縣名 (本部所在地)	兵力	馬匹	隊數
第一憲兵隊	ケーニヒベルグ	三〇七	五〇	三
第二憲兵隊	グエムピンネン	四一五	六三	三
第三憲兵隊	アーレンスタイン	三九一	六五	三
第四憲兵隊	マインヴェルダ	一七八	二一	一

第二編 獨逸憲兵警察制度

五

0575

歐洲諸國(獨、佛、伊、波)憲兵警察制度

第五憲兵隊	ポーツダム	五六〇	五九	四
第六憲兵隊	フランクフルト	三九三	四〇	三
第七憲兵隊	ステツチン	二五四	二四	二
第八憲兵隊	ケスラン	二六四	四四	二
第九憲兵隊	ストラルフンド	九二	八	一
第一〇憲兵隊	シュナイデンウール	二三〇	三一	二
第一一憲兵隊	プレスラウ	四二六	四一	三
第一二憲兵隊	リエグニツツ	三一七	三一	三
第一三憲兵隊	オブラン	三八一	四〇	三
第一四憲兵隊	マクデブルグ	二八一	八	二
第一五憲兵隊	メルスブルグ	四三九	一一	三
第一六憲兵隊	ホルフルト	一三二	一一	一
第一七憲兵隊	シネレスヴィグ	三八九	二二	三
第一八憲兵隊	ハノウバア	一九四	三	二
第一九憲兵隊	ヒルデスハイム	二二六	一八	二
第二〇憲兵隊	ルウエブルグ	二三九	一八	二
第二一憲兵隊	スタアデー	二〇九	二	二
第二二憲兵隊	オスナブルク	一五二	二	一
第二三憲兵隊	アウリツヒ	九八	二	一
第二四憲兵隊	ミヒンスタ	二四〇	六	二

六

0576

第二五憲兵隊	ミンデン	一七〇	七	二
第二六憲兵隊	アルンスベルグ	四二九	一三	三
第二七憲兵隊	カウセル	三七四	一四	三
第二八憲兵隊	ウイスバアデン	二〇二	一〇	二
第二九憲兵隊	コブレントツ	一七一	八	一
第三〇憲兵隊	グエゼルドルフ	三一六	一三	二
第三一憲兵隊	ケルン	一四二	九	一
第三二憲兵隊	テリエー	一四八	二四	一
第三三憲兵隊	アーヘン	九五	一五	一
第三四憲兵隊	シグマリンゲン	三七	二	一
計		八八九一	七二五	七〇
内務省附將校		一		
憲兵學校職員		二一		
ザール地方駐在憲兵		八六		一
合計		九〇〇九	七二五	七一

自動庫百六十臺ヲ有ス(一九一九年末)更ニ増加ノ計畫アリ
 憲兵ノ兵力ニ付キ上述セルハ公表セル處ニ基クモ實際ハ更ニ多數ニシテ一萬數千名ナリト云フ尙本表外憲兵學校ニ派遣
 中ノ者常ニ八百名内外アリ
 六、憲兵ノ任務 憲兵ハ公共ノ安寧秩序ヲ維持シ之方爲定メラレタル法律及命令ヲ執行シ行政司法ノ官憲ヲ補助ス憲兵ハ自
 治警察機關ノ所在都市ニ在リテハ普通警察官ヲ補佐シ然ラザル特別ノ縣ニ於テハ其ノ地方ノ一般警察務ヲ管掌ス憲兵ハ

第二編 憲兵警察制度

0577

其地下級警察官廳ノ指揮ニ屬セズ但其ノ發スル處分命令ニハ違反スルヲ得ズ

第二節 憲兵ノ補充

一、憲兵上等兵ノ補充ハ護國警察官ヨリ行フ即護國警察官ニシテ巡查部長トシテノ教育ヲ受ケ得ル資格アルモノハ憲兵轉職ヲ志願スルコトヲ得轉職志願資格トシテハ(1)六年以上八年以下ノ警察勤務年限ヲ有スルコト、(2)年齢二十八歳以下タルコト例外ト雖モ二十九歳ヲ越ユルヲ得ズ、(3)警察務ノ能力十分ナルコト、(4)天性伶俐身長一、六八以上、(5)警察實習學校ノM I 級ノ教課ヲ卒ヘタルコト、(6)勤務ノ内外ヲ問ハズ行動嚴正特ニ素行正シク謙遜ニシテ節儉ナルコト、(7)獨身者ナルコトヲ要ス

二、選拔セラレタル者ハ六ヶ月間憲兵學校ニ派遣セラル此ノ間身分ハ護國警察官ナルモ懲罰及勤務ニ關シテハ憲兵學校長ノ權下ニ在リ修業試験ノ合格ハ憲兵拜命ノ條件トナル

三、憲兵候補者登錄 憲兵學校ノ課程ヲ終了シタル時ハ原所屬隊ニ復歸ス第一憲兵試験ニ合格シタル者ハ憲兵要員トシテ登錄セラル

四、憲兵上等兵拜命 登錄ヲ受ケタル憲兵候補者ハ缺員ニ應ジ序列ニ從ヒ且ツ最少限八年以上警察務ニ服シ巡查部長トナリタル者ヨリ憲兵上等兵ニ採用ス憲兵試験ニ優又ハ良ノ成績ニテ合格シタルモノハ優先的ニ採用セラル序列ノ變更ハ特ニ理由アルトキニ限ル而シテ憲兵拜命前尚ホ六ヶ月間ハ試習期間トシ其ノ成績良好ナルトキ轉職ヲ許可ス

五、下士ヘノ任官 憲兵上等兵ニシテ全勤務年十二年以上ニ達スル者ハ缺員ニ應ジ縣知事ヨリ憲兵伍長ニ任ゼラル又伍長ハ軍曹ニ缺員ニ應ジ進メラル曹長ヘノ昇進同様ナリ

六、憲兵將校 憲兵將校タランコトヲ志願シ得ルハ左ノ如シ

(1) 憲兵軍曹及伍長 警察學校ノA IIノ課程ノ試験ニ合格シ且第二憲兵試験(憲兵曹長試験)ニ良好ノ成績ニテ合格シタル者ニシテ從來職務ノ成績優秀ナルコト總テノ點ニ於テ憲兵將校タルノ地位ニ對シ適當ナリト思料セラルル者ニシテ四十歳以下ナルコトヲ要ス

(2)

警察將校ヨリノ轉入 警察中尉ハ憲兵中尉ニ轉職スルコトヲ得其ノ資格トシテハ (イ) 三十五歳以下ナルコト、
(ロ) 警察務ノ能力充分ナルコト、(ハ) 高等警察學校ノ或ル教課ヲ卒ヘタルコト、(ニ) 從來ノ職務ノ成績優秀ナルコト、(ホ) 職務ノ内外ヲ問ハズ行狀正シキコト、(ヘ) 憲兵ノ上級監督勤務ノ官吏トシテ使用スルニ適當ナリト
思料セラルル者ナルコトヲ要ス

警察中尉ニハ九級制高等學校ノ卒業證書ヲ有スルモノヲ第一順位トス

七、憲兵ノ昇進ニ就テ (イ) 憲兵伍長ニ任官シタル後軍曹 (分駐所長) ニ進ムニハ第一憲兵試験ノ成績良好ナリシコトヲ要ス

(ロ) 軍曹ニ進メラルル第一順位ノ者ハ憲兵科ニ於ケル勤務年限タルト將々伍長ニ於ケル實役停年タルトヲ問ハズ要ス
ニ定員内任命ヨリ起算シ憲兵科在勤十年以上ノ曹長候補者トス

(ハ) 軍曹及伍長ハ共ニ曹長ニ進ムコトヲ得即チ第一及第二憲兵試験、憲兵學校ニ於テ曹長候補者ノ教課ノ修了ヲ要件ト
ス年齢ハ四十八歳以下トス

(ニ) 憲兵中尉ニ任ゼラルベキハ憲兵ノ下士以下ノ果進、護國警察ノ警察中尉ノ轉職ヲ以テ之ニ當ツ

(ホ) 憲兵大尉 缺員ヲ生ジタルトキハ適任ノ中尉ヨリ補充ス

(ヘ) 憲兵少佐 警察高等學校ニ於ケル警察少佐候補者又ハ憲兵少佐候補者ノ課程ヲ良好ノ成績ヲ以テ卒ヘタル事ヲ要ス

(ト) 憲兵中佐及大佐 共ニ適任者ノ昇進ニヨリ補充ス

八、憲兵ノ官名 憲兵上等兵 (Landjäger) 憲兵伍長 (Oberlandjäger) 憲兵軍曹 (Landjägermeister) 憲兵曹長 (Oberlandjägermeister) 憲兵中尉 (Landjägeroberleutnant) 憲兵大尉 (Landjägerhauptmann) 憲兵少佐 (Landjägerhauptmann) 憲兵中佐 (Landjägeroberst) トス

以上ハ主トシテ外勤憲兵ニ就テノ官名ニシテ我國ノ准士官及少尉ニ相當スルモノナキハ注意スベキ點ナリ

第三節 憲兵學校及教育

第二節 訓練憲兵警察制度

九

0820

0579

一、憲兵學校 大戰前ニハ「ウオールアウ」及ビ「アインベック」ニ同等ノモノアリ規模小ニシテ學生定員モ七十名ニ過ギ

ザリシガ一九二七年九月十五日ニ至リ學校一ヲ増設シ大ニ其ノ規模ヲ擴張シ憲兵教育ヲ振作スルニ至レリ

(1) 學校位置及指揮 「ウオールアウ」、「アインベック」、「アーレンスタイン」トス而シテ各所在地ヲ管轄スル知事ノ指揮監督下ニアリ

(2) 憲兵學校ノ組織 「アーレンスタイン」憲兵學校ハ校長憲兵少佐、學校教官憲兵將校七名、下士以下七名、「ウオールアウ」校長憲兵少佐、教官憲兵將校五、下士以下二名、「アインベック」校長憲兵少佐、教官憲兵將校五、下士以下二名トス

(3) 學生ノ種類及ビ學生數 a、憲兵伍長候補者 六〇〇名、b、護國警察官ヨリ憲兵へ轉職セントスル者 一一〇〇名、c、憲兵曹長候補者 約百名以內、d、警察中尉ヨリ憲兵中尉ニ轉職者教育數不定

二、憲兵學校教育

(1) 憲兵伍長候補者ハ最少限三ヶ月間實際ノ憲兵勤務ニ從事シタル後此ノ學校ニ派遣シ所定ノ教課ヲ受ケシム本教育期間ハ通常四ヶ月トス教課ノ終末ニ試験ヲ行フ本試験ニ合格スルト否トハ伍長任官ヲ左右ス

(2) 護國警察官ヨリ轉職志願者 本教育ハ六ヶ月間學校ニ派遣セラレ憲兵ニ必要ナル教課ヲ教授セラル教課終末時ニ修業試験アリ(之ヲ第一憲兵試験ト云フ)其ノ合格スルト否トハ憲兵任命ノ條件トナル教育課目ハ刑法刑事手續法各種法律各種規則規定中憲兵職務上必要ナル條文ヲ主トシ實務トシテハ各種報告書調書等ノ作製、犯罪捜査法、術科トシテ乘馬、騎銃拳銃ノ射撃等ヲ主トス

(3) 曹長候補者教育 本教育ハ軍曹伍長ニシテ曹長候補者トシテ選定セラレタル者ヲ三ヶ月間教育ス其ノ教課ノ終末ニ試験ヲ行フ之ヲ第二憲兵試験ト稱シ曹長昇進ノ必要條件ナリ

(4) 警察中尉ヨリ轉職者ノ教育 護國警察官ヨリ憲兵將校ニ轉ジタル警察中尉ハ其ノ所在地ヲ管轄スル憲兵學校ニ於テ八ヶ月間教育ヲ受ク

三、其他ノ憲兵教育 憲兵ハ州警察部ニ在ル地方司法警察課ニ於テ司法警察ヲ實習ス

第四節 憲兵ト護國警察トノ協同

上述ノ如ク憲兵ハ列國ト其ノ制度ヲ異ニシ内務大臣系統ニ屬シ護國警察ト共ニ國家警察機關トシテ最モ精英ナルモノナリ其ノ威力ノ發揚ノタメ兩者ノ協同ヲ必要トスル當然ナリ次ノ規定アリ參考ノ爲メ記述ス

憲兵ト警察官ト共同シテ或ル特定ノ勤務ニ就クヲ要スル時ハ豫メ相互ノ理解ヲ圖ルヲ要ス之レ相矛盾スル處分ニ出テ意見ノ相違ヨリ明カニ相矛盾スル結果ヲ招來スルガ如キコトナカラシメンガ爲メナリ斯カル共同ノ勤務ニシテ若シ統一指揮ヲ必要トスルトキハ左ノ規定ヲ適用スベシ(一九二二年九月九日内務大臣訓令)

一、警察官ノ警備部隊ト數個ノ憲兵分遣隊ヨリ成ル集成ノ憲兵隊トガ共同勤務スベキトキハ各部隊ノ指揮ハ依然其ノ隊ノ指揮官毎ニ之ヲ行フモノトス而シテ統一指揮ヲ何人ガナスベキヤハ職務官廳下級警察官廳ノ時ハ那長之ヲ決定スルモノトス此ノ際階級及新古ヲ斟酌スルヲ要ス

二、警察隊ト若干ノ單獨憲兵トガ共同スルトキニ於テハ憲兵ヲ助官者及地理上ノ案内者トシテ使用スベシ警察隊ノ指揮官ハ其ノ任務ノ實行ニ當リ土地及人物ニ付キ認識ヲ願慮スルヲ要スル時ハ配屬憲兵ノ意見ヲ求ムベシ

三、憲兵ノ部隊ト若干ノ單獨ノ警察官トガ協同スル時ハ警察官ハ憲兵ノ指揮官ノ指示ニ從フベキ義務ヲ負フ

四、部隊ヲ編成セズ從テ警察將校ノ命令下ニナキ若干ノ單獨警察官(巡邏、單獨使用等)ト憲兵トガ協同スベキ時ハ最古參ノ憲兵其ノ指揮ニ當ルベキモノトス

五、警察官ト憲兵トハ身分上諱屬關係ヲ生ズルコトナシ

六、警察官ト憲兵トヲ以テ混成ノ一部隊ヲ作ルコトヲ許サズ

第五節 憲兵ニ對スル補助資金庫
憲兵補助資金庫制度ハ憲兵ノ利便ヲ圖ルヲ目的トスル國家ノ施設ナリ而シテ本資金ハ憲兵經理局長經理委員會ノ協力ヲ得テ管理ス

9820

0581

一、馬匹資金庫 乘馬本分者ノ馬匹金ヲ管理ス本資金庫ハ各憲兵ニ對シ與ヘラルル馬匹金ヲ憲兵ノ名ニ於テ受領シ且ツ本人ノ積立金トシテ保管ス其ノ外馬匹購買ノクメ國家ガ前渡スル資金ノ使用ニ耐ヘザル勤務馬ノ賣却代金及馬匹ノ損害ニ關シ受ケタル賠償金ヲ各々本人ニ代リ本人ノ積立金トシテ保管ス本資金庫ハ各憲兵ニ代リ勤務馬ノ購入費國家ニ對スル返済等ヲ掌ル憲兵ガ他ノ勤務ニ使用セラルル時ハ特別ノ場合ニ限り其ノ積立金ヲ全部拂ヒ戻スコトヲ得退職ノ際積立金アルトキハ全部之ヲ拂ヒ渡ス最後ノ勤務馬ノ賣却代金ヲ資金庫ニ收納スルモ尙ホ資金庫ガ立替ヘタル金額ヲ償フニ足ラザル時ハ本人ヲシテ之レヲ辨濟セシム

二、義濟會資金庫 俸給等級トシテ以上ノ憲兵ハ會員トシテ本義濟會ニ會費拂込ミノ義務アルモノトス本資金庫ノ收入ハ主トシテ會員ノ會費(自下月額四、七馬克乘馬者ハ五、七馬克)及資金庫ノ全財産ノ利子ナリ義濟會資金庫ガ會員ニ救済金ヲ交付スルハ會員本人其正妻及子供ガ疾病ニ罹リタル時ニシテ通常疾病ノクメ要シタル費用80%トス而シテ本人又ハ其正妻ノ死亡ノ時ハ百六十馬克子供ノ死亡又ハ胎内ニテ發育セル子供ガ死産シ正式ニ戶籍吏ニ届出埋葬スルヲ要スル時ハ百馬克嫡出子出生ノ時ハ四十馬克ヲ交付ス其外資金庫ノ財産狀況ニ應ジ馬匹繋畜上受ケタル損害ニシテ馬匹資金庫ヨリノ交付金ニテ不足スル時ハ該不足額ヲ交付スルコトアリ

三、自轉車資金庫 最近新規則ノ發令ニヨリ本資金庫廢止セラルル參考ノクメ附記ス

I 總則 自轉車費ノ調達、計算支拂ヲ簡單ナラシムル爲メ一九二九年一月一日以降憲兵モハ自轉車ヲ國費ニテ購入ノ上交付ス

II 自轉車 勤務用自轉車ノ保存期間ハ五ヶ年トス
保存期間内ハ自轉車ハ國家ノ所有物ナレ共保存期間後ハ憲兵ノ私有ニ移ルモノトス私有ニ歸シタル自轉車ト雖勤務上ノ上官ガ尙ホ憲兵ノ職務執行上使用ニ堪ユト認ムル限り之レヲ勤務ニ使用スルヲ妨ゲズ

III 報償金 私有トナリタル自轉車ヲ勤務ニ使用スルモノニ對シテハ前述IIノ保存期限ヲ基礎トシ且ツ附屬品ヲ含ミタ

IV 自轉車ノ價格ニ應ジ算定シタル一定ノ報償金ヲ支給ス年額二四馬克ニ至ル平均維持手當 自轉車ヲ維持スルタメ要スル全雜費支辨ノタメ年額三六馬克ノ修理維持費ヲ支給ス

第二章 獨逸一般警察制度

第一節 警察官廳

獨逸國ノ各大都市ノ警察制度ハ其ノ中心タル普魯西ノ制ヲ範トシアリ大差ナキヲ以テ其ノ大樣ヲ示ス警察官廳ヲ分類セバ左ノ如シ

- (一) 中央官廳 內務大臣トス內務大臣ハ一般警察ニ對スル權限ヲ有ス然レ共其他ノ大臣即チ公安大臣ハ保健警察ニ付キ南江大臣ハ港灣警察船舶警察及營業警察ノ大部分ニ付キ、農林大臣ハ農業森林狩獵漁撈獸畜傳染病警察ニ付キ各權限ヲ有ス
- (二) 地方上級警察官廳 縣知事トス但シ伯林ニ在リテハ警視總監トス以上ハ同時ニ中級及下級警察官廳(郡警察官廳及市町村警察官廳)ノ監督官廳トス其他縣警察ハ高等警察就中縣警察官廳ニ特別ニ委托サレタル日曜休務日及河川航行ノ警察又ハ數郡ニ及ブ事務ヲ管掌ス
- (三) 中級警察官廳 郡長トス主トシテ道路獸畜傳染病狩獵警察等ノ委任事務其他數市町村ニ亙ル事項及市町村警察ノ權限ニ屬セザル總テノ警察事務ヲ管掌ス
- (四) 下級警察官廳 都市及町村ニ於テハ各種ノ機關ニヨリ警察事務執行セラル都市ニ於テハ警察官廳ハ市長ナリ但シ人口一萬以上ノ市ニ在リテハ內務大臣ノ認可ヲ得テ特別ノ國家ノ官廳ニ委托スル事ヲ得然ル時ハ警察行政ハ警察部長ノ委任トス町村ニ於テハ各種ノ機關アリ稍々複雜ナリ東部諸州ニ於テハ署長(署管内ニ對シ署管内ハ一又ハ數町村ヲ包括ス)「ウエストフアレン」及「ライン」州ニハ市長、「ハノバール」ニテハ郡長ニ委任シアリ「エツセン」、「ホヘン

ツオレルン地方ニテハ町村自治行政機關アリ
下級警察官廳ハ到ル所國家ノ事務ヲ行フモノトス其事務ハ國家ガ國家ノ直接ノ官吏(我國ノ官吏ニ相當)ニ委任スル
コトアリ又自治機關ニ委任スルコトアリ市町村ノ任命シタル官吏(我國ノ公吏ニ相當)下級警察官廳タル地ニ於テ
モ亦町村警察權ハ國家ノ名ニ於テ行フモノトス

第二節 警察機關

一、區分

- (一) 内部勤務 行政勤務トモ稱ス營業、交通、建築、會計、豫算、經濟、人事等ノ勤務ヲ云フ各警察官廳ハ内部勤務ノ爲メ數個ノ課ヲ有ス一縣警察勤務ノ核心ヲナス長ハ警察部長トス全警察事務ノ責任者ナリ
- (二) 外部勤務 勤行勤務トモ稱シ實務ヲ執行ス即チ國家機關タル護國警察(Schutzpolizei)(制服)、司法警察(私服)、憲兵(制服)及自治體ノ警察(一部制服一部私服)ニ分ル

二、護國警察

- (一) 編成 市町村ヲ單位トシテ配置シ所轄警察部長ニ隸屬ス而シテ大中小三級ノ警察司令部ニ分レ小司令部ハ隊ニ更ニ警察團ニ分ル伯林ニ於ケルモノヲ示セバ警察隊(P. Gruppe)警察中隊(P. Inspektion)警察風隊(P. Reviere)分屯哨(Landposten)トナルガ如シ此ノ外特殊團體トシテ通信隊、航空監視隊、自動車隊、騎馬隊等アリ
- (二) 任務 (イ)保安警察上 國家及地方團體制度ノ保護、人及財産ニ對シ各種ノ暴力ヲ以テスル法益侵害ニ對スル防護、罰スベキ行爲即チ重罪及輕罪ノ豫防、集會多衆運動群衆ト公安ノ保持、各種ノ報告通報、公道廣場橋梁ニ於ケル公共ノ秩序公安及清潔、公ノ施設ノ保護、交通警察交通整理公ノ交通設備ノ監視、街路商人ノ取締、火藥警察爆發性物質及引火性物質ノ携行、不幸警察日曜祭日ノ外面上ノ神聖保持、劇場勤務、停車場勤務、救護ヲ要スル者負傷者病人ノ世話、囚人護送勤務、經濟警察上ノ若干ノ任務原野山林狩獵渡流水ニ關スル警察
- (ロ) 行政警察上 營業警察、關利事項、市場警察、保健警察、旅行及外人警察、勞働者保護保險制度、救助教育事項、

0584

調査勤務、其他經濟警察上ノ廣大ナル任務及違警罪事件ニ關スル檢舉等

三、司法警察 一般編成ハ左ノ三級ニ分ル

a 獨逸司法警察局 (Reichskriminalamt) 國家ノ官廳ニシテ獨逸内務大臣ニ隸ス聯邦各國ニ置ク地方刑事警察官廳間ノ協同動作ヲ規整シ且ツ數聯邦國ニ跨ル事件ニ就キ指示スル任務ヲ有ス但シ獨逸ノ利害ニ關スル事件ナル時ハ官吏ヲ派シテ直接事件ニ干與セシムルコトヲ得

b 地方刑事局 各聯邦ニ置キ聯邦政府ノ指揮下トシ獨逸司法警察局及司法警察署間ノ連絡機關タリ重大ナル事件ニ就テハ捜査ニ關シ裁判所及檢事ヲ援助スベキ任務ヲ有ス又識別勤務上蒐集機關タリ

c 司法警察署 聯邦ニアル實働機關タリ檢事、裁判所地方刑事局ノ指揮ヲ受ケ捜査ヲ實行シ權限アル事件ニ對シテハ自ラ獨立シテ捜査ス

四、プロイセン國司法警察 普國司法警察ハ一九二五年五月二十日ノ内務省令ヲ以テ改正設置セラレタリ此ノ制度ハ普國ノ全地域特ニ平地帯ニ能力十分ナル司法警察網ヲ張ルト共ニ從來司法警察署ガ組織上缺陷アリ(司法警察上ノ行動地域的ニ制限アリシヲ云フ)シニ鑑ミ此ノ缺陷ヲ排除セントスルニアリ

普國司法警察業務ハ伯林警視廳内ニ在ル「プロイセン」司法警察署及各地ニ設置スル普國司法警察支署之レガ實行ヲ擔任ス普國司法警察署長ハ警視廳ノ第四部長(司法警察)ノ兼職トス同署ハ又内務省ノ一機關ニシテ其委任ニ基キ行動シ又其同意ヲ得テ行動ス其任務ハ司法警察機關ノ司法事件ニ對スル統一アル行動適切ナル協同又必要ナル武裝並ニ司法警察官吏ノ養成教育裝備ヲ圖ルニアリ尙同署ハ、1. 識別勤務上ノ中央機關、2. 司法警察上ノ情報中央機關、3. 逮捕ニ關スル中央機關、4. 國家警察ノ中央機關、5. 拘捕事件ノ中央機關、6. 國際婦人賣買禁退中央機關、7. 風俗壞亂ノ文書圖畫ニ對スル警察中央機關ノ諸機關ヲ包括ス一九二八年十二月十二日付内務大臣ノ訓令ハ同署ノ權限ニ更ニ政治警察ヲ加ヘタリ而シテ本任務ニ就テハ政治局ヨリ監督セラル又同署ノ任務ノ中特ニ重要ナルハ同署ガ1. 大逆罪ノ運動、2. 内亂罪ノ運動及軍事機密ノ漏洩、3. 公共ニ危險ノ惧アル方法ニテ爆發物ヲ不法ニ使用シ以テ重輕罪ヲ犯ス者、

0820

0585

4 兵器發見、等ノ事項ニ對シテ情報蒐集ノ中央機關タル點ナリ

普國司法警察支署ハ極メテ重要ナル國家警察行政官廳ノ許ニ設置セラレアリ近世式ノ司法警察用具及設備ヲ具ヘ地方警察官廳等ガ犯罪ヲ捜査スルニ當リ之ヲ援助ス又困難ニシテ重要ナル事件特ニ慣習的犯罪ト認ムル時ハ自ら捜査ヲ擔當ス又地方警察官廳ノ請求檢事又ハ豫審判事ノ請求及地方警察上ノ事件ニ於テハ縣知事ノ請求又ハ指示アリタルトキ活動ス

五、婦人司法警察機關 本機關ハ現在存在スルハ少數ニシテ刑事局ニ於テ建設中ニ在リ將來婦人ノ司法警察(危殆警察)ハ一般司法警察ヨリ區別サルベシ

本機關ハ現下ベルリン三八人、エツセン七人、プレスラウ四人、アルトナ三人、エルベルフェルト三人、フランクフルト十三人、ケルン七人、マグテブルク三人、ハノオバー三人、ハアル三人、存シ將來勤務地及人員増加セシ

元來婦人警察官ハ民衆ノ信頼ヲ必要トスル勤務ニ服スルモノナルガ故ニ民衆ノ信用ヲ失ハシムルガ如キ目的ノタメニ婦人警察官ヲ使用スルヲ得ズ危殆警察機關トシテ婦人警察官ハ豫防行爲及身上ノ相談ニ關スル事項ヲ擔任ス當分其ノ擔任業務ハ次ノ如シ

A 危殆警察上ノ任務

- 1 小兒及少年者ノ乞巧行爲ノ豫防、
- 2 營業規則ノ範圍内ニ於テ小兒及少年者ノ路上商賣ヲ監視、
- 3 少年保護法實行上ノ協力、
- 4 未成年者身體上又ハ道德上切迫セル危險ニ瀕シ而カモ之ヲ庇護スベキ者ナキトキ諸關係法規ノ範圍内ニ於ケル保護ヲナス猶豫セバ危險發生スト認ムルトキ並ニ他ニ何等ノ方法ナキトキハ適時危險ヲ排除スルコトヲ得、
- 5 少年ノ犯罪行爲ノ豫防、
- 6 少年小兒、成年婦人ニシテ救済ヲ要スル場合(無宿者、泥酔者、精神障礙病人等)ノ保護、
- 7 一九二七年二月公布ノ花柳病豫防法實施上ノ協力、
- 8 活動寫眞パー集會講演會等ノ際ノ監視ニ際シ少年法ノ實施上ノ協力及旅館料理店ニ於ケル少年及女中ノ監視

B 司法警察上ノ特別任務

- 1 少年及男女十六年未滿者ノ犯行ニ關スル告發事件ノ處理、
- 2 被害者又ハ證人タル少年及少女ノ聴取、
- 3 成年女子ニシテ被害者又ハ證人タル者ノ取調特ニ事件ガ婦人ノ性ニ關スルモノナルトキ、
- 4 成

0586

年女子が被疑者ニシテ婦人警察官が取調ヲナスヲ適當トスル場合即チ性ニ關スル犯罪但シ營業的事件ヲ除ク及社會通念上婦人が取調ブルヲ適當ト思料セラルル犯罪、5 少年者及成年婦人ノ一身上ノ關係又ハ經濟上ノ狀況ヲ調査スルニ當リ好意ヲ失ハズ且ツ人目ニ立タザル如クスルヲ必要トスル場合(情狀酌量ノ場合ノ如キ)、6 未成年女子ノ護送及裁判所ヘノ引渡ノ場合

一般司法警察機關ニ婦人ヲ使用スルニ當リテハ其ノ婦人タルノ特性ヲ顧慮スルヲ要ス而シテ男子警察官中下級俸給等位ノ警察官ガ服スル勤務ニ婦人ヲ使用スルコトヲ得尙目下司法警察ニ婦人警察官ヲ使用シタルハ伯林十四人、コケルンレ二人ノミニシテ刑事助手トシテ使用シアル嚆矢ナリト云フ

六、自治體ノ警察

自治體ノ警察モ國家ノ事務ナリ國家警察ト同様内務行政ノ全範圍ニ互リ職權ヲ有ス其異ナル處ハ自治體警察ニ在リテハ一般警察任務ヲ達成スルタメ自治體ヨリ任命セラレタル警察之ニ當ル點ニ存ス而シテ自治體警察ノ費用ハ自治體ノ負擔トス反之國家警察ノ費用ハ國家ノ負擔ナリ而シテ自治體警察行政ニ在リテハ制服警察官及司法警察官ヲ備ヘ執行勤務ニ服セシム小ナル自治體警察行政ニ於テハ通常制服警察官ノミニヨリ全警察務ヲ遂行シアリ

第三節 警察官吏

一、種類 a 國家警察官 國家ヨリ任用セラル、モノニシテ(1) 護國警察、(2) 水上警察隊、(3) 司法警察、(4) 憲兵ニ分ツ

b 自治體警察官 地方自治團體ヨリ任用セラルモノトス

二、執行警察官ノ種類 (1) 國家警察官 國家警察官廳ノ勤務ニ服スル護國司法警察官及憲兵ヲ謂フ

(2) 準國家警察官 地方團體ノ警察官ヲ謂フ此ノ警察官ハ又夕間接ノ官吏トモ云フ蓋シ市町村ノ勤務換言スレバ國家ニ歸スル地方團體ノ公務ニ服スルガ故ナリ

三、制服護國警察官ノ官名 巡查 (P. wachmeister)・巡查部長 (P. Oberwachmeister)・警長巡查部長 (P. Hauptw-

3820

0587

ohlmeister) 警察補 (P. Meister) 警部 (P. Obermeister) 警察少尉 (P. Leutnant) 警察中尉 (P. Oberleutnant) 警察大尉 (P. Hauptmann) 警察少佐 (P. Major) 警察中佐 (P. Oberleutnant) 警察大佐 (P. Oberst) 護國警察司令官 (Kommandeur der Schutzpolizei) 4 K

四、司法警察官ノ官名 刑事 (Kriminalassistent) 刑事部長 (Kriminalsekretär) 監獄刑事部長 (Kriminalferiksekretär) 刑事官 (Kriminalkommissar) 刑事官 (Kriminaloberkommissar) 刑事長 (Kriminalpolizeirat) 刑事監 (Kriminaldirektor) 4 K

五、地方團體警察官ノ官名 巡查 (Polizeiwachmeister) 警長 (Polizeibetriebsassistent) 刑事 (Polizei (kriminal) a sstrant) 刑事部長 (Polizei (kriminal) sekretär) 監督刑事部長 (Polizei (kriminal) berispssekretär) 警部補 (Polizeimeister) 警部 (Polizeiobermeister) 地方警視 (Polizei (kriminal) kommissar) 警察監 (Polizei (kriminal) inspektor) 警察總長 (Polizei (kriminal) direktor) 4 K

第四節 検事ノ補助官吏

検事ハ捜査機關トシテ活動上補助機關タル官吏ヲ定ムルコト次ノ如シ

一、國家警察機關 A 護國警察 1 警察大尉、中尉、少尉、警部及警部補、2 監督巡查部長及巡查部長ニシテ派出所ノ長タル者又ハ營業交通勤務ニ服シ若ハ哨所ニ長タル者

B 司法警察(國境警察ヲ含ム) 刑事長(但刑事課長タル刑事長ヲ除ク)、刑事正、監督刑事部長、刑事部長、刑事、補助刑事

C 憲兵 郡憲兵長及分遣隊長タル憲兵大尉、中尉、曹長、軍曹、伍長

D 水上警察隊 検事ノ補助官吏トシテハ護國警察ト同階級ノ者ハ同一ノ職權ヲ有ス尙ホ艇長及哨所長タル監督巡查部長及巡查部長ヲ加フ

E 婦人刑事警察官 婦人刑事長、婦人刑事官、婦人刑事、婦人警察拘禁場看守

第五節 警察官職ノ編成組織

1870

0588

一、警察署(隊)ニ於ケル組織
署長(警察大尉)

B 附將校一(通常警察中尉、比較的大ナル警察署ニ配置セラル)署長ノ第一次ノ代理者タリ相談相手タリ、派出所ヲ常ニ監督シ巡察特別任務、請願、懲罰事務ヲ調査ス

C 署僚警部、署長ノ代理、事務室ノ事務長トス其ノ職務ハ1 報告、文書ノ査閲記帳ニ關スル決裁、2 罹災簿、郵便切手簿、休暇簿、患者簿、物品簿、印刷物目録、部下警察官ノ俸給簿、3 法規及命令等ノ報告、訂正、蒐錄、4 郵便切手、印紙立替金ノ管理補充、5 各種報告ノ受理(司法關係ヲ除ク)、請願取調、6 労働者手帳、旅人身元證明書、營業願、行商免許證、印刷物檢閲證、漁獵免狀、武器所有證、自動車檢査證、運轉手免狀、災害事件ノ發見、7 署名及謄本ノ立證等トス

G 戸口調査課書記
當直者 三名

J 立番及巡邏勤務 五名乃至十五名宛一日ノ服務トシ一日八時間一日三交代トス

K 司法警察 1 重輕罪ニ關スル告發ノ受理犯罪現場ノ臨檢、2 重輕罪ノ現行ニ遭遇シタル時犯人ノ逮捕又私人カ現行犯人ヲ捕ヘ又ハ其疑ニテ捕ヘタル者ヲ拘束、3 居宅事務所ノ搜索物ノ押收、4 殺人係專任者ノ到着スル迄殺人事件ニ關スル業務、5 横死ヲ伴ヒタル災害事件等

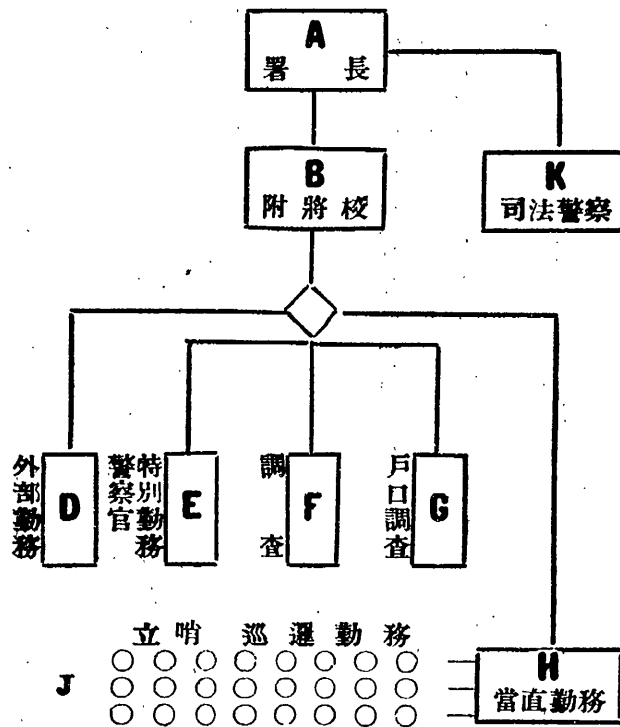
F 調査官 二乃至三名ニテ其ノ任務ハ1 警察犯事件ノ取調、2 官廳及情報課關係者ノ照會ニ對スル調査、3 自動車ノ「スタンプ」消及許可狀ノ沒收、4 警察上ノ事件ヲ公衆ヘ對シ告示等トス

D 外部勤務、二警部補ニシテ其ノ任務ハ1 飲食店營業、旅館營業、音樂會、質屋、劇場、口入屋(免許願出ニ關スル事項)、2 舞踏會、娛樂會、見世物(許可願出ニ關スル事項)、3 「ホテル」、劇場、飲食店、商賣ノ監督、4 稅臺帳及骨牌ノ記帳、5 現地ニテ調製ヲ要スル文書ノ作製、6 火災被害ノ調査、7 保安交通兩警察上ヨリ各種建築

0589

歐洲諸國(獨、佛、伊、波)憲兵警察制度

場ノ監視、8 營業
 警察及保健警察ニ關
 スル異議ノ申立諸願
 事件、9 立哨及巡
 察ノ監督
 E
 特別使用ノ警察官
 一乃至二名私服勤務
 ニシテ1 管内ノ乞
 食客引ヲ監視、2 行
 衛不明者及損害事
 件、3 囑託、拘束ノ
 實行及所在捜査中ノ
 人物ノ逮捕、4 警
 視廳ノ中央部及警察
 署ノ司法警察係ヨリ
 ノ書翰書類ノ處理
 5 外人届出ノ監督
 等ニ任ズ
 上叙スル所ヲ圖示スレバ
 下ノ如シ



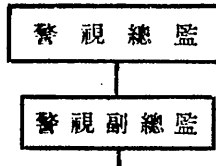
二〇

0590

二、國家警察行政官廳ノ編成(警視廳警察監部)左表

ノ如シ

伯林
林警
編制
表視



管理業務				(地方警察)				執行勤務					
人事局(官房)	警務會	警務課	警務課	第一部 國家高等警察	第一部ノA 政治警察	第二部 營業演劇交通及水上警察	第三部 住居及經濟關係事項	第四部 刑事警察	警視廳	警視廳	警視廳	警視廳	警視廳
編制人事 勤務監督 特別任務 庶務	新特勤通 務務務務 務務務務 務務務務	警務課 警務課 警務課 警務課	警務課 警務課 警務課 警務課	一 國家高等警察 二 衛生關係事項 三 銀行保險 四 稅務	一新政國外 二 外國旅 三 旅券 四 旅券	一 營業演劇 二 交通 三 水上 四 水上	一 住居 二 經濟關係 三 經濟關係 四 經濟關係	一 刑事警察 二 刑事警察 三 刑事警察 四 刑事警察	警務課 警務課 警務課 警務課	警務課 警務課 警務課 警務課	警務課 警務課 警務課 警務課	警務課 警務課 警務課 警務課	警務課 警務課 警務課 警務課
局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長

1650

20ノ警察及署

中央	チ ル ガ ル ン	ゲ エ チ ン	ブ レ ン ツ ペ ル ク	フリ ド リ ヒ ン	クロ イツ ベル グ	フ ロ ッ ツ ダ ウ	シ ヤ ロ ッ ダ ウ	ス バ ン ダ ウ	ウ イ ル メ ル ス ド ル フ	ツ エ ン ベ ル グ	シ エ ン ベ ル グ	ス テ ン ベ ル グ	テ ン ベ ル グ	ノ イ コ ル ン	ト レ ブ ト ザ	コ ベ ニ イ ク	リ ヒ テ ン ベ ル グ	ワ イ セ ン ゼ ー	パ ン コ グ	ラ イ ニ ケ ン ド ル フ
	17	13	13	12	9	13	13	7	7	4	8	6	5	12	7	5	9	3	7	8
行政警察署																				
	21	15	15	14	11	16	15	6	9	5	10	7	5	12	6	6	11	4	6	6
刑事警察署																				

國家ノ警察行政官廳(警視廳、警察監部)ノ編成

(但伯林警視廳ヲ除ク)

警察行政官廳

常務取締官
總務長官

行政事務警察											護國警察		司法域				
官房 H	警察金庫 Ka	警察會計 検査官 RV	警察醫主事 A	警察獸醫 主事 T	警察教授 Sch	經理部 W	第一政治警察 I	第二外事警察 I	第三交通水上 II	第四營業警察 IV	第五即決事件等 V	第六法助警察等 VI	第七警備警察等 VII	第八警備警察等 VIII	護國警察 S	司令部	司法警察監部 K
主事 (Am) ヲ有ス						第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等	第一警備室 及宿舎對内 事務ノ官等

警察監部=於テハ本表局ノ代リ=事務局ノ名稱ヲ用フ又同部警察官署ノ名稱上表ト同一ナルトモ警察金庫ノトキハ警察署金庫トイフ

0592

第六節 獨逸警察官ノ總人員

一、總人員ニ就テハ公表セラレタルモノヲ示スモ尙ホ實際ハ多數ナリト云フ

1	國家ノ警察行政内	六〇五五五
2	自治體警察行政廳ノ有スル地方ニ在ル護國警察	二九〇八
3	プロイセン司法警察及國境警察	一七七
4	憲兵	八九二三
5	教育機關 A 內務大臣直屬ノ講習所及學校	二六〇
	B 州立警察學校及憲兵學校	九九八
	C 教習生	二〇一六
6	縣廳内	二四
7	未ダ國家ノ官廳トナラザル警察行政廳管下	一一九
8	總金庫	一三九
9	警察特別區警察官	一三
10	ザール地方	二七八
	合計	七六四一〇

二、護國警察將校ノ階級及出身別		少尉	中尉	大尉	少佐	中佐	大佐	司令官	計
以前上級警察執行官		一七	六一	九三	三一	一一	二	二二四	
以前現役陸軍將校		二四	三七二	二〇一	二一	二〇		六三八	
以前ノ豫備役將校		四八	二八七	二六	二			三六三	

第二章 獨逸憲兵警察制度

二三

0593

以前ノ下士	三〇一	一三四	三	五三八
小學校中等學校	六四	一一〇		一八四
其ノ卒業受驗資格者	一一三	四五		一五八
他ノ無資格者	一三〇	一一七		二四七
合計				一三五二

上表ニテ如何ニ陸軍軍人ノ多クガ警察幹部トシテ採用セラレアルカヲ知ルベシ而シテ護國警察ハ一九二〇年ノ創設ナルガ當時以前上級警察執行官ハ多ク護國警察ニ轉ゼン時定年ニ近ク一九二九年マデニ退職者多カリシト云フ

第七節 警察官吏法

- 一、警察官ノ進路 1 二十歳ニ達シタル者ヲ巡查教習生トシテ採用シ約一年間警察學校ニ於テ教育ス
 - 2 卒業後任免可能ノ(必要ニヨリ免シ得ルモノヲ言フ)巡查ニ任ジ警察部隊ニ編入ス
 - 3 滿八年該部隊ニ在リテ勤務シ巡查部長タルベキ資格ヲ積マザルベカラズ
 - 4 八年ヲ終リタル後自己ノ希望及能力ニ應ジ護國警察ノ單獨勤務(警察區勤務及特殊勤務)又ハ更ニ九ヶ月間試習勤務ヲ國家警察ノ他ノ部門タル憲兵、司法警察行政内部勤務ニ移リ又ハ自治體警察ニ入ルモノトス
 - 5 巡查ハ滿三十二歳(勤務年限十二年)迄法律上ノ地位ハ任免可能トス
 - 6 爾後能力並ニ缺員ノ有無ニヨリ任免不可(法律上一定ノ事由存スルニ非ザレバ自由ヲ免シ得ザルコト)ノ官吏ニ任命ス然ル時ハ一般官吏法ヲ適用ヲ殆ド完全ニ受クルニ至ルモノトス
- 二、解職規定 警察官ヲ解職シ得ルハ次ノ四場合ナリ
- 1 第八條該當者 a 警察將校ニシテ勤務年十年未滿ノモノ、b 警察吏(監督巡查部長以下ノ巡查全部)任免不可ノ地位ニ任ゼラルル迄ノモノ、c 他ノ部門ノ勤務試習中ニ在ル巡查
 - 2 第十五條該當者 護國警察ヨリ他ノ國家警察又ハ町村警察へ轉ズル爲メノ試習期間ヲ終へ轉入シタル警察官吏ハ滿三

十二歳迄

3 第五十九條第一項該當者 一九二六年三月三十一日任官ノ警察官吏(將校ヲ含ム)

4 細則第一條Cニ記載スル者(犯罪其他)

第八節 警察官ノ採用ト補充

一、護國警察官ノ補充 A 巡査教習生ノ要件 1 完全ナル警察勤務ニ耐ユル能力アルコト、2 身長一、六八m以上例
外ノ場合ト雖モ一、六五ヲ下ルヲ得ズ、3 満二〇歳以上二二歳以下例外規定ト雖モ満一八歳乃至二三歳、4 十分
ナル普通教育ノ證明、5 品行方正且獨身ナルコト、6 軍籍ニ在ラザルコト

B 警察將校候補者 1 拔擢進級ノ見込ヲ持ツテ拜命シタル巡査ヨリ、2 勤務ノ成績ニヨリ將校トシテ必要ナル一般
教養アリト認メラレタル任免可能ノ巡査部長ヨリ補充ス而シテ(1)ニ屬スルモノハ九級制ノ高等學校又ハ之ト同等
以上ノ公立高等學校ノ卒業證書ヲ有スルモノトス此ノ者ハ警察學校ニ於テ一年間卒業後約一年ノ後勤務地ニ於テ巡査
部長トナルベキ進級試験ヲ行ヒ合格者ハ拜命後約二年以後ニ於テ巡査部長ニ進ム(2)ニ屬スルモノハ護國警察官

一般進級規定ノ適用ヲ受クルモノトス技術上ノ特別勤務ニ服スル警察官ニシテ警察將校タラント志望スル者ハ適時外
部勤務ニ轉ズル事ヲ要ス又(2)ニ屬スル部長及監督部長ハ警察學校ニ於テ部長試験ヲ又ハ技術上必要ナル特別教科ニ
於テ部長試験ヲ總平均點良ニテ合格シタルモノナルコトノ制限アリ

C 警察中隊所屬ノ警察官 1 勤務年四年以下ノ巡査、2 勤務年四年以上ノ巡査、3 巡査部長、4 監督巡査部長
以上ハ勤務年十年ヲ完了スル迄ハ警察勤務上必要ナル能力ヲ缺クト認ムル時ハ解職スル事ヲ得而シテ此等ノ者ハ警察
官ニ共同生活スルノ義務ヲ有シ六年ニ滿タザルモノ營外ニ居住セントスル時ハ内務大臣ノ許可ヲ得ルヲ要ス

二、司法警察官ノ補充 1 刑事ヨリ監督刑事部長ニ至ル補充 a 刑事候補者、b 刑事部長候補者、c 監督刑事部長
候補者ノ順序トス(a)ハ護國警察ノ巡査ニシテ勤務年限八年以上ノ者ヲ以テス而シテ警察學校ニ於テ巡査部長試験
ニ合格シタル者ナルヲ要シ試習期間九ヶ月ヲ經テ刑事候補者ヲ命ゼラレ實役十二年滿了後ニ於テ始メテ刑事トナル十

0595

二年以上ノ巡查ナルトキハ候補者ヲ命ゼラルルコトナク直チニ刑事トナル此ノ外前職ノ如何ヲ問ハズ採用スル規定アリ此ノ補充ハ定員ノ一割迄トス

2 刑事官以上ノ補充 a 刑事官候補者、b 刑事官、c 刑事長、d 刑事監ノ順序トス

此ノ候補者タルベキモノハ(a)ハ監督刑事部長、刑事部長、刑事ニシテ四五歳以下ノモノ(b)ハ警察將校ニシテ三五歳以下ノモノ(c)ハ一定ノ制限範圍内ニテ一般ヨリ補充ス此ノ候補者ハ高等警察學校卒業後補助刑事官ト稱シ六ヶ月ノ後始メテ正式ニ刑事官ニ任官ス

三、自治體警察官ノ補充 市町村及市町村組合ノ警察務ニ關スル職ハ其ノ職ガ主トシテ警察務ニヨリ行ハルベキモノナル限リハ原則トシテ護國警察ノ巡查ヲ任用スベキモノトス但シ原野山林監視夜警ノ職ハ此ノ限リニ非ズ而シテ警察行政事務ノミハ其ノ職ノ半數ノミヲ巡查ニ保留スベキ規定アリ

1 自治體警察ノ執行勤務志願者ニ對スル採用條件 a 補充證書ヲ所有スル者、b 現ニ護國警察ニ勤務中ノ者ニ在リテハ其ノ所屬長カ本人ハ八年以上ノ在勤年者ナルヲ證明スルコト、c 年齢三五歳以下天性溫良判斷迅速普通教育十分ニシテ勤務内外ヲ問ハズ行狀正シキコト意思鞏固理性ニ富ミ負債ナキコト十分ナル勤務能力アリ身長一、六八以上

2 司法係 司法警察機關ハ比較的大ナル警察行政内ニ於テノミ存在ス此ノ司法警察官吏ハ同一警察部ノ制服警察官中ヨリ適當ナル人物ヲ選拔シ又國家ノ司法警察官ノ轉入ニヨリ又ハ他ノ團體ヨリノ轉入ニヨリ補充ス採用ノ際特別ノ試験ヲ行フ任用ノ決定ニハ必ず試用期間ノ成績ニヨルベキモノトス

四、婦人警察官ノ補充 1 婦人刑事 志願者ハ二五歳以上三〇歳以下ノモノ警察醫ノ健康證明書ヲ要ス公安従事者トシテ國家ノ證明書ヲ有シ最少限三ヶ月以上公又ハ特殊ノ危害排除事業ニ従事シ功績アリタル者又統一速記術ヲ有スルコトヲ條件トシ刑事トシテ採用ス

2 婦人警察拘禁場看守 a 志願者ハ獨身又ハ寡婦ニシテ扶養ヲ要スル子女ナキコト、年齢二五歳以上三五歳以下ニシテ

0596

普通教育ヲ受ケ監守ニ必要ナル強健者又評判良キコトヲ要ス、*b* 其ノ採用方法ハ社會的又ハ宗教上ノ組織ニ在リテ
教養ヲ積ミタル婦人ヲ第一順位トス第一順位ノ者ナキトキハ刑務所ニテ看守ノ經驗アル婦人中ヨリ採用ス

第九節 護國警察官ノ昇進

- 一、昇進ノ條件 *a* 定員内ノ職ニ補スルノ能力アルコト、*b* 規定ノ試験ノ成果(一度再試験ヲ許ス)、*c* 所屬長ノ判定、*d* 最低停年ニ達シタルコト(巡査ニノミ適用)
- 二、巡査ヨリ巡査部長ヘ *a* 所屬長ガ公文ヲ以テ適任者ナル事ヲ證明シタルコト、*b* 警察學校ニ於テ部長試験ニ合格シタルカ又ハ所在地ニテ巡査部長速成教課ヲ卒ヘタルコト、*c* 以上ノ外M Iノ教課ノ終末試験ニ合格シタルコト但シM Iノ試験ハ警察實習學校ノ中級ヲ好成績ニ了ヘタル者ニ非ザレバ受クルヲ得ズ憲兵學校ノ教科ヨリ復歸シタル者モ亦少護國警察ノ部長進級ノ有資格者トス
- 三、巡査部長ヨリ監督巡査部長ヘ 通常任免不可ノ任官ニ附隨シテ行ハルヲ一般トス *a* 任免不可ノ身分トナル直前二年間内ニ六ヶ月以上警察區ニ在リテ連續勤務シ又ハ技術上ノ特別部門ニ在リテ勤務シ成績優秀ナリシコト、*b* 所定ノ試験ヲ卒ヘタルコト
- 四、監督巡査部長ヨリ警部補ヘ 任免不可ノ地位ニ在ル監督巡査部長ハ警察學校ニ於テ所定ノ一課程ヲ卒ヘタル後警部補ニ昇進スルコトヲ得但シ實役十二年以上ニシテ内最後ノ四年間少護國警察又ハ他ノ國家警察行政又自治警察行政ノ警察執行務ニ服シタルコトヲ要ス警部補タルニ必要ナル學歷トシテハ *a* 警察學校ノ巡査部長ノ教課、*b* 國家ノ認定シタル自治體ノ警察學校ニテ三ヶ月間ノ教課、*c* 高等警察學校ノ警察將校候補者教課ノ中間試験ヲ了ヘタルコト、*d* 警部タルベキ資格ヲ與フル三年間ノ教課ヲ修メタルコトヲ要ス
- 五、警部補ヨリ警部ヘ *a* 獨立シテ又ハ代理トシテ一官署ヲ統率スルノ能力アルコト、*b* 技術上ノ特別勤務ニ對スル專門學校ニ於テ教職ヲ執リ得ルコト、*c* 所定ノ學歷ヲ備ヘタルコト、而シテ警部ハ警察區長(署長)ノ連續代理ヲ擔任スルヲ要スルコトアリ區長ノ疾病休暇缺員ノ場合ニモ連續代理ヲ生ズ區長ノ比較的長期ニ亙ル不在ノ際ハ代理者トシテ警

0597

警察校(大尉又ハ中尉)ニ任命セラルルヲ普通トス然レ共事件ノ模様ニヨリテハ殊ニ警部カ特殊ノ能力ト適應力ト有
シ反ツテ代理者トシテ適當ト思惟セラルルコトアリ然ル時ハ警部カ區長ノ代理ヲ擔任ス迅速ナル進級ノ見込ミニテ採用
シタル教習生出身ノ警部ヘノ拔擢進級ハ缺員アリ且所定ノ警部試験ヲ終ヘ且ツ勤務年二年以上ナルトキ之ヲ行フ警察將
校候補者ノ教課ノ豫備試験ニ合格シタル巡查ニシテ當該教課ノ終了前所屬官署ニ復歸シタル者ハ警部ニ進級セシムルコ
トヲ得

六、警察將校ヘノ進級 a 警察將校候補者ノ進級ハ候補者任命後三ヶ月以内ニ少尉ニ進級ヲ内務大臣ニ具申スルヲ要ス同
日ニ昇進シタル警察將校ハ新階級ノ停年名簿ニ於テハ從前ノ階級ニ於ケルト同一ノ序列ニ位置ス然レ共特別ノ試験ヲ經
テ進級シタル場合ノ序列ハ試験ノ成績ト上級官廳ノ判定トニヨリ新ニ之ヲ定メラル、b 警察中尉同大尉ヘノ進級ハ警
察學校ニ於テ所定ノ教課ヲ了ヘタルコトヲ要ス、c 警察少佐ヘノ進級ハ警察區長及警察中隊長ヲ優秀ナル成績ニテ經
過シ且高等警察學校ニ於テ警察少佐候補者ノ教課ヲ了ヘタルコトヲ要ス、d 爾後能力ニ應ジテ中佐大佐及司令官ヘ昇
進ス

警察將校及憲兵將校ノ昇進ハ内務大臣ヨリ發令セラル昇進ハ空位アルニ當リ停年名簿及上官ノ判定ニヨリ行ハル懲罰ヲ
受ケタル警察將校及憲兵將校ハ適當ノ期間内ニ總テノ點ニ於テ間然スル所ナキヲ實證シタル後始メテ詮衡セラル拔擢進
級ハ各種ノ勤務(實務並ニ教官)ニ在ル警察將校及憲兵將校ニ對シ其ノ技能能力功績智識ガ警察及憲兵將校ノ平均ヨリ
特ニ卓出セル者ニ限り之ヲ行フ特別拔擢ハ身體又ハ生命ニ對シ直接ノ危險ニ面シタル警察將校ニ對シ詮衡ス一般ニ拔擢
ハ警察及憲兵大尉ヘノ進級ヨリ以後之ヲ行フ

第三章 獨逸警察教育制度

獨逸警察教育機關ハ實ニ完備シアリ次ノ如ク區分サル

- 一、内務大臣所屬 1 警察講習所、2 警察技術及交通講習所、3 アイへ高等警察學校、4 警察體育學校
- 二、伯林警視總監所屬 1 伯林警察衛生學校、2 伯林警察附屬學校、3 警察犬馴教所
- 三、州長官所屬 1 州立警察學校(全十校)、2 憲兵學校(全三校)、3 州立乘馬練習所

第一節 内務大臣直屬ノ教育機關

一、伯林警察官講習所 伯林ニ在リ次ニ示ス講座ヲ警察上ノ必要ニ基キ教授シ併セテ上級警察官ノ爾後ノ研究ヲ促進スル任務ヲ有ス

1 警察法 形式的及實質的警察法ヲ系統的ニ教授シ且ツ警察法上ノ疑問ヲ説明ス併テ獨逸内及外國ニ於ケル警察法上重要ナル公法上ノ事情ヲ教授ス

2 警察心理學及教育學 警察行爲ニ對スル心理學上ノ原則ノ研究精神上ノ適性ニ關スル問題ノ研究

警察實務及警察ニ於ケル教育ニ對シ警察心理學上ノ研究結果ノ應用法

3 歴史及社會學 警察上關係アル社會學及經濟學、社會事情ト關聯セシメテ國內及國外ノ警察史

4 組織及使用 プロイセン警察ノ組織、プロイセン以外ノ獨逸警察組織、獨逸國以外ノ警察組織、警察ノ經理及經濟問題、警察力ノ使用、警察力使用ニ關スル學ノ講義

5 刑事學及刑法 刑法學ノ原則ノ研究現行刑法及近ク施行スル刑法トノ原則關係ノ解示、最近ノ證據方法ト刑事訴訟法上ノ効力原則應用ノ刑事事件

講習所ニハ教材蒐集課ヲ附置ス一九二六年伯林警察大陳列會出品中適當ナルモノハ同課ニ收容シアリ同課ハ持續的ニ蒐集ニ努ムルヲ要シ教材參考トシテ適當ナル實物實例ハ之ヲ複寫又ハ寫眞トシテ同課ニ送附ヲ要ス職員ハ講習所專屬ノ文官當該課目専門ノ學者及警察實務家ヲ以テ之ニ充ツ聽講ハ典型的の指揮官及警察官ノ教官、教育指導者ヲ養成スルタメ向學心旺盛ナル警察官又ハ警察各種部門ノ警察官又一定ノ制限下ニ自治體警察官及普國以外ノ警察官ニモ聽講ヲ許ス但シ聽講料ヲ支拂ハシム各講座ハ修業試験ヲ行ハズ聽講證書ヲ交付ス最近ニ於テ司法警察刑事官候補者ニ對スル講座ヲ増設セラ

二、高等警察學校 「アイヘ」ニアリ「プロイセン」全警察界ニ在リテ執行勤務ニ従事スル幹部ヲ教育スル施設ナリ

1 教育講座 全警察ノ執行勤務ニ屬スル警察官ニ對スルモノヲ包括シ内務大臣必要ニヨリ招集ス教育講座次ノ如シ

a 警察大尉ニ對スル講座 未ダ高等警察學校ニ入學シタルコトナキ大尉

b 警察中尉ニ對スル講座 未ダ本校ニ入學セザル中尉

c 警察將校候補者ノ講座

d 目下護國警察及憲兵少佐候補者ニ對スル講座ヲ開キツツアリ

e 高級幹部タルベキ候補者ニ對スル講座

f 自治體警察ノ kommissar 候補者ニ對スル講座アリ

三、普國體育學校 スパンダウニ在リ教育ハ警察將校助教巡查ニシテ學校ノ目的ハ 1 州立警察學校ニ於テ教習生ノ教育ヲ

擔任スルニ適當ノ巡查ヲ教育ス、2 執行勤務ニ於ケル身體鍛練ノタメ其ノ體操及拳闘ノ指導者トナルベキ者ノ養成、

3 將校候補者ノ教育及將校タルニ足ル體質ノ適否ノ検査、4 警察中尉カ大尉タルニ足ル肉體上ノ適性ヲ有スルカノ

検査及肉體鍛練教育ニ關スル指導、5 警察大尉、少佐、警察醫及州立警察學校ノ教官ニ對シ體操教育及自治警察官ノ

教科ニ關スル指導、6 「シュツボリツアイ」ノ體操教育ニ對スル指導案ノ出版、7 普國全「シュツボリツアイ」ニ對ス

ル游泳池體操場設備「ホール」、8 新式體操器械ノ試験及作製、9 大學及體育專門學校ニ於ケル學術的研究結果ノ視察

及實地試験、10 憲兵及「シュツボリツアイ」ニ對スル「スキー」教科設置、11 内務大臣ノ催ニ係ル競技ノ準備及實行

四、技術及交通講習所 伯林ニ在リ a 自動車及交通部、b 技術通信部、c 航空監視部、d 武器部ノ四教育部ニ分

カ

其各擔任教育ハ 1 警察及憲兵隊ノ自動車勤務ニ服スル者ノ教育、2 電信勤務ニ服スル護國警察官ノ教育、3 交

通警察ニ従事スベキ護國警察官ノ技術教育、4 航空監視勤務ニ服スル護國警察官ノ教育トス

右ノ外技術界ニ於ケル發明ノ試験ヲ實施シ又警察上必要ナル發明ノ實施意見ノ發表等ヲナス

第二節 伯林警察總監所轄學校

- 一、伯林衛生專門學校 本校ハ警察病院ニ附置セラル其ノ教科次ノ如シ
- イ、養成科(六ヶ月) 衛生勤務ニ従事スベキ要員ヲ教育ス衛生勤務ニ従事スベキ者ハ本教育ヲ卒ヘ且ツ警察官トシテ四年以上勤務ニ服シタル者ニ限ル
- ロ、教育科(六ヶ月) 巡查部長及監督部長候補者ヲ教育ス既ニ勤務地ニ於テ技術的ノ專門試験ニ合格シタル者ニシテ消毒學ニ對スル教育科程ヲ學修シタルコトナキモノトス
- ハ、警部補及警部候補者ニ對スル講座 相當期間衛生勤務(警察病院衛生專門學校警察療養所警察病院分院移動病院)ニ従事シタル經驗アリ十分ナル衛生上ノ智識ヲ有スル者
- 二、伯林警察師範學校 イ、警部補又ハ警部ニ進級スベキ見込アル警察官ニ對スル階級勤務ノ教育、ロ、階級勤務ノ監督巡查部長ニ對スル教科、ハ、部長ニ進級見込アル階級勤務巡查ニ對スル教科
- 三、警察犬訓練所 コグリユメハイデニ在リ伯林警察總監ノ所管トス警察及憲兵ノ爲メニ警察犬及其ノ使用者ヲ教育スル中央教育機關ナリ而シテ a 訓練班、b 教育班、c 探偵犬ノ試験班アリ教育班ニテハ護國警察官、司法警察官、憲兵、自治體警察官、警察獸醫勤務警察官ヲ教育ス學生ハ一匹ノ警察犬ヲ訓練ノタメ携行スルカ又ハ訓練班ニ委託シテ購入飼養スルヲ要ス

第三節 州長官所轄ノ學校

- 一、州立警察學校 其ノ組織ハ護國警察官ノ補充員ニ對シ第一次ノ教育ヲナシ並ニ既ニ職務實施中ノ者ニ對シ爾後ノ教育ヲナスニアリテ校長ハ高等警察將校トス警察上ノ專門教官ハ教育學心理學ニ造詣アリ且ツ實務ニ經驗アル警察將校(少佐大尉中尉)ヲ以テ之ニ充テ助手トシテ有能ノ巡查ヲ使用ス各警察學校ニハ經理局及警察醫務室ヲ附置ス五學級ニ分チ新入生ハ第五級ニ入ル又教科種別及期間ハ a 教習生ニ對スル教科(一年)、b 部長候補者ニ對スル教科(四ヶ月)、

第二編 州長官所轄ノ學校

三

0601

o 部長ニ對スル教科(三ヶ月)(此ノ教科ハ警部補ヘノ進級資格トナル)、尙 d 警部候補者ニ對スル教科(八週間)、
e 國境警察官ニ對スル教科、f 自治團體警察官候補者ニ對スル教科、g 拳闘教官ニ對スル救急法講座アリ
教育要領ハ教習生ノ教科ニ於テハ最初ノ期間ハ體育及武器操法爾後法規教育ノ進ムニツレ減少ス既ニ實務ニ從事シタル
警察官ノ爾後教育ニアリテハ職務上ノ實地經驗ヲシテ警察智識ノ増進及深刻ナラシムル爲メノ出發點タラシム故ニ理論
ヲ主トシ實務ヲ從トス進級候補者ノ教育ハ勤務地ニ於テ最多ク現出スル事件ニ對スル法規ニ重キヲ置キ教育ス要スル
ニ警察官ヲシテ其ノ階級及用途ニ應ズル特別ノ智識ヲ教授シ以テ彼等ヲシテ其ノ修得シタル智識ヲ獨立シテ活用スルヲ
得シメ實務ニ利用シ得ルニアリ

二、州立乘馬練習所 警察教習生ヲシテ騎馬警察隊員ニ養成ス又購買馬ノ調教ヲナス又警察教習生科ハ一年又警察騎馬隊ノ
先任巡查ニ對スル教育ヲナス而シテ本練習所ハ全國ニ八ヶ所アリ

三、警察將校乘馬練習所 「ボツツダム」ニ在リ騎馬警察將校ノ要員ヲ養成ス期間一ケ年トス尙將來騎馬隊ニ配屬サルベキ警
察將校候補者警察青年士官及先任將校ニシテ騎馬警察隊指揮官或ハ馬術練習所ノ教官タルベキ者ニ入學ヲ許可ス

四、警察實習學校 1 目的 巡查ノ職務上相當ナル普通教育ヲ傳習シ及確實ナラシム又退職後自由職業又ハ他ノ公職ニ轉
ズルニツキ必要ナル一般教育ノ傳習ヲナス

2 就學者ト級別 國民教育ヲ了ヘタル巡查ハ次ノ學級ニテ教育ヲ受クルノ義務アリ

V (豫備級)、U II (初等科二級)、U I (初等一級)、M III (中等科三級)、M II (中二級)、M I (中一級)、O III (高等科三
級)、O II (高二級)、O I (高一級) 高等科就學ハ任意、之ヲ卒業シタル者ハ將校タルノ資格ヲ得

3 教員 教員ニハ兼任ノ小學校教師、中等學校教師、實業學校教授、商業學校教授、經濟學者、技師等アリ

4 學校監督者 一ノ國家ノ警察行政官廳又ハ一ノ州立警察學校ノ範圍ニ對シ通常一名ノ警察學務官又ハ教授ガ警察實務
學校長トシテ任命セラレ學校長亦タ兼任ナル學校ハ警察學務官之ヲ監督ス

5 教官及就學者數 警察教授七、警察學務官三一、兼任教官一四二〇名ヲ算ス就學者六千八百名

6 就學上ニ就テハ各人ノ學力程度ニヨリ差アルモ警察學校ヲ終ヘ警察隊ニ編入セラルルヤ直チニ考查ヲナシ學級別ヲ定ム而シテ通常ハ初等科ニ級トス尙本校ニ關シテハ種々ノ規定アルモ略ス警察官ノ能率増進ト退職準備トヲ兼ネタル設備トシテ注目ニ値スルモノナリ

7 自由職業ニ就カントスル者ノ專門教育 義務年限滿了後自由職業ニ轉ズル希望ヲ有スル巡查ニ對シ將來ノ生業就中通常從前ノ職業又ハ之ニ類似ノ職業ノ準備ヲナシ得シメンガ爲 *a* 商業科(一年間)、*b* 農業科(一年間毎週十二時間)、*c* 工科(一年間)、*d* 工場科(一年間)ノ教育ヲ施ス

a ハ商業ノ素養ヲ有スル者ニシテ退職後獨立シテ商業ヲ營メントスルモノ教育ノ末期ニ修了試験ヲ行ヒ合格者ニハ證書ヲ附與ス、*b* ハ農業ノ素養アリ農業ヲ營メントスル者若ハ園藝ヲ營メントスル者ニ對シ學科ヲ教授ス卒業者ニ證書ヲ附與ス、*c* ハ手工業ニ於ケル工匠試験受驗者ニ對シ學科ヲ教授ス手工業ニ於ケル技工試験ヲ既ニ合格シタル者ナルコト、*d* ハ工場使用人材料管理工場書記工場守衛等ニ對スル學科、以上ノ專門教育ヲ終ヘタル巡查ハ自己ノ志望ニヨリ三ヶ月以下ノ期間ヲ限リ總テノ費用自辨ノ下ニ自己ノ職業ヲ實際ニ試ミル爲メ派遣スルコトヲ得ル規定アリ

第四章 獨逸航空及水上警察

第一節 航空警察ノ組織

- 一、航空ニ關スル總テノ事項ハ普國商工大臣及普國內務大臣ヲ以テ管轄中央官廳トス而シテ內務大臣ハ航空警察官ノ人事規律及訓練ニ關スル事項ヲ主宰シ又經濟的航空事項ニ就テハ商工大臣ノ指揮命令ヲ受ク
- 二、各州ニ於テハ州長官ガ管轄州官廳トシテ飛行監視ノ職務行爲ヲ規整ス州廳ニ設クル警察飛行監視班長ハ同時ニ警察技術上ノ事務者タリ且ツ州長官ノ航空專門輔佐者タリ
- 三、各州ハ更ニ數個ノ飛行監視區ニ分チ各區ニ各一個ノ警察飛行監視班ヲ置ク班長ハ警察將校ヲ以テ之ニ充ツ警察飛行監視

第二編 獨逸憲兵警察制度

三三

0603

班ハ航空監視ノ業務ニ於テハ州長官ノ隷下ニ在リ警察上ノ事項ニ於テハ勤務地ノ郡市警察管理部ノ指揮ヲ受ク
四、伯林ニ於テハ警察廳内ニ航空監督部アリ其ノ長ニハ警察少佐ヲ以テシ監視總監ノ命ヲ受ケ全普國ノ航空警察ニ關スル事
項ヲ統一督掌ス

五、人員 各航空發着地ニ警察航空監視所ヲ設置ス其ノ人員ハ業務ノ繁閑飛行場ノ大小等ニヨリ差異アルモ伯林テンベルホ
17 中央飛行場所在ノモノハ約三十名ヲ有ス其他ハ秘密ニシテ正確ナル數字ヲ知ルヲ得ズ

第二節 航空警察ノ任務

一、航空機ニヨル空中輸送及其ノ經營ニ關シ公ノ秩序及公安ヲ維持スルタメ發セラレタル法規ノ實施ヲ監視シ違反アルニ於
テハ之ヲ檢察スルヲ任トス

二、航空警察ハ二方面ニ區分シ得一ハ航空専門官ノ行爲他ハ航空監視勤務ノ警察官ノ活動トス即チ航空専門官ハ飛行場ニ於
テ監督ヲ行ヒ空中交通ヲ監視シ交通發着場飛行場着陸場ヲ搜索シ及注意ス又航空機ノ建造空中輸送ノ企業及飛行士養成
所ヲ監督ス又墜落ヲ調査シ航空試驗ヲ官ノ判決ヲ與フ

航空監視警察官ハ空中交通ノ検査凡テノ地上組織ノ設備及従事員飛行實施ノ際ニ飛行機ノ検査及阻止、墜落時ニ先ツ救
助ヲ請ズルコト統計事務等ニ従事ス尙公表セラレタル警察官ノ任務ハ1 各飛行場ニ於ケル航空交通ノ管理及監督、

2 航空機ガ制規ノ如キ状態ニアルヤ否ヤノ検査、3 飛行機及操縦者ノ爲ニ規定セラレアル證明書ノ検査、4 國際
飛行機ノ發着ニ方リテハ旅券ノ検査、5 逃亡犯罪人囚人等ノ飛行機ヲ以テスル逃亡ノ逮捕取締、6 飛行場ニ於ケル

一般民衆職工飛行場勤務等ニ對スル危險豫防、7 氣象臺及操縦者等ニ協議シ飛行機ノ危險ナル出發ノ禁止、8 航空
事項ニ際スル救授及警察處置、9 夜間飛行ノ監督、10 飛行機ノ發着信號、11 航空事故ニ際シテハ警察眼ヲ以テ原
因ノ調査及決定、12 國際航空ニ際シテハ税關吏ト連絡シテ密輸入ノ監視等ニシテ其ノ他空中輸送法ニ依ル各種警察制

限等アリ

第三節 航空警察官ノ採用及教育

0604

一、航空警察官ノ採用 航空警察官(下士兵卒)ハ一般警察官學校ヲ卒業シ四ヶ月間警察實務ニ服シタル者ヨリ志願者ヲ募集シ採用試験ヲ課シテ入選シ採用セル者ハ直チニ技術及航空ニ關スル學校ニ入校ヲ命ジ一年間航空ニ關スル學術科ヲ修習セシメ然ル後航空警察ノ事務ニ服ス毎年約四十名入校セシメアリ

二、教育 伯林技術及交通ニ關スル學校ノ教育課目次ノ如シ

- 1 航空氣象ニ關スル學術科 氣象觀測手タタルニ必要ナル程度
- 2 一般航空材料學 機體發動機其他ノ金屬木材等
- 3 飛行機ニ關スル學術科 其ノ程度ハ飛行機工手トシテ必要ノ程度ニシテ機體點檢ニ關シテハ特ニカヲ用ヒアリ
- 4 發動機ニ關スル學術科 發動機工手トシテ必要ナル程度ノ教育ヲナス
- 5 世界地理及地圖ノ讀解
- 6 航空力學ニ關スル初步ノ知識
- 7 航空交通及之レガ監督ニ關スル學術科ハ A 飛行場一般ノ警戒監視、B 飛行機發着ノ規正整理、C 航空事故ニ對スル應急處置、D 旅客ノ検査要領、E 各國旅客飛行機ノ型式及其標識、F 飛行機ノ出發及着陸ニ際シ各種證明書ノ點檢、G 飛行機出發前ノ點檢、H 國際及國內航空規則及條約等トス要スルニ完全ナル地上勤務員タル技術ヲ教育シアリ又飛行機ノ操縦術ハ一般航空警察下士以下ニハ教育シアラザルモ警察將校ハ巴里大使會議ノ結果五十名迄許可セラレアリ「スターケン」獨逸交通飛行學校ヲ卒業セル者ヲ募リ採用シアリト云フ

第四節 水上警察隊

一、該屬關係ト組織 水上警察隊ハ選信大臣ノ轄下ニ屬シ隊長ハ警察中佐トシテ選信省內ニ在リ普國ニハ水上警察隊管區ハアリ一管區ハ更ニ二乃至四分隊管區ニ分ル即チ八隊二十分隊此ノ外「ウエルンストルフ」、「ブランデンブルグ」、「コアラニエンブルグ」ノ水團ニ各分屯哨ヲ置ク隊長ハ多クハ少佐又ハ大尉、分隊長ハ大、中尉水團屯所長ハ中、少尉トス要員ノ教育ハ水上警察學校(スパンダウ)ニ於テ行フ

0605

- 二、權限其他 1 水上警察隊ハ國家ノ權能ニ基キ又ハ聯邦國ノ承認シタル權限ニ基キ獨逸沿岸港灣及河川上ニ活動ス即チ國家ノ管轄ニ屬スル水路上ニ河川警察及航行警察ヲ執行ス又水上警察隊官吏ハ「プロシヤ」補助警察官ニシテ「プロシヤ」全部ニ亙リ警察處分ヲナス權限ヲ有ス唯ダ水上ノミニ限ル例外トシテ陸上ニ於テ警察權ヲ行フコトアリ此ノ場合ハ直チニ所轄警察官廳ト連絡スルヲ要ス
- 2 聯邦國警察官廳及地方警察行政管理官廳ハ水上警察隊ニ對シ其ノ管内ノ水上警察勤務ノ執行ニ關シ任務ヲ與フルコトヲ得水上警察隊ハ此ノ任務ヲ實行シ且實行ニ當リテハ與ヘラレタル指示ニ準據スルヲ要ス
- 3 其ノ他ノ地方警察官廳ハ斯カル任務ヲ水上警察隊ニ與フル權限ヲ有セズ只依頼シ得ルノミ

第五章 獨逸警察ノ特種施設

- 一、警察犬 現在警察犬ノ頭數及同使用警察官ノ數ハ護國警察：警察犬：六二六同數ノ使用者、司法警察：追跡犬：三四同數ノ使用者アリ
憲兵ニハ少數ノ警察犬アリ又私人ノ所有スル警戒用犬ハ憲兵ノ勤務用トシテ能力ヲ有スルモノアリ之ヲ合算スルトキハ約二千五百頭アリ憲兵ニ對シテハ飼料費トシテ年額九六馬克ヲ補助スルノ規定アリ警察犬一頭ノ飼養費ハ月額約二〇馬克ヲ要ス
- 二、囚徒護送監房車 普國ニ於テハ護送ハ警察ノ任務ナルガ被護送者ノ九割ハ刑事被告人又ハ豫審中ノ未決囚ナリ行刑官吏ハ護送ニ干與セズ警察ハ司法官廳ノ請求ニヨリ護送ヲ實施ス獨逸鐵道省ハ囚徒輸送ノタメ特別ノ監房車輛五二輛ヲ作製使用シアリ此ノ内二七輛ハ殆ド絶エズ運行シアリ各車輛毎ニ二名ノ護國警察官附添ヒ護送ニ任ズ運行ハ運行計畫ニ基キ客車ニ連結シ特定日ニ運行サレアリ各州ニ連絡ス囚徒護送車ノ連結運行鐵道網ハ約千二百五十軒ニ及ブ一年約七萬三千人ヲ運搬ス(一九二九年度)運轉報償金トシテ鐵道省ニ支拂フ額ハ平均百萬馬克ナリト云フ

0606

三、警察無電網 警察無電網ハ大ニ發達シ殆ンド主要都市ニ通達シアリ即チ先ヅ「ベルリン」ヲ中心トシテ十五ノ大都市ニ連
結シ大都市ハ更ニ其ノ管内各地合計七十ノ地方小都市等ニ連絡シアリ

四、護國警察及憲兵ノ被服

1 警察及憲兵將校ハ自ラ被服及裝具ヲ調製維持スベキ義務アリ之等將校ニハ勤務被服手當トシテ月額十一馬克ヲ給セラ
ル

2 憲兵警察官ニテ免職不可ノ地位ニ任ゼラレタル者ハ勤務上必要ナル被服裝具ヲ無償ニテ給與セララル其ノ品目ハ（帶革
肩革信號手銃（チヤコト帽）等ハ依然國家ノ所有ニ屬スレ共其他ハ所有トナル）帽一、上衣一、布製長袴一、夏上
衣一、長靴用袴一、マント一、外套一、室内衣一、襟飾三、手套二對、革脚絆一、編上靴二足、短衣一、體操服一
褲トス

五、警察官ノ宿所 1 控置中隊所屬ノ警察官ハ集結シテ警察宿泊所ニ收容ス警察宿泊所ハ國家之ヲ建設シ購入シ又ハ賃借
シ或ハ舊兵營ヲ使用シアリ

2 其他ノ警察官モ各宿舍ヲ給セラル然ラザルトキハ住宅手當ヲ加給セララル

3 憲兵、國境警察官、之等ノ者ニモ國家ハ自ラ新タニ建築シ或ハ適當ナル建造物ヲ購入シ又適當ナル私有家屋ヲ借り上
ゲ以テ職務宿舍ニ充當シアリ

第三編 佛國憲兵警察制度

第一章 佛國憲兵制度

佛國憲兵ノ歴史ハ既ニ研究セラレアル如ク最モ古ク各國憲兵ノ範タリ遠ク「オーガスト」帝時代ノ夜警手（Nocturne）ニ初マリ「フ
ランク」時代ニハ警察權ハ軍長官ノ有スル處トナリ王朝時代ヲ經テ封建時代ト漸次ニ發達シ軍ノ最高統帥者タル元帥ハ軍ノ司

0607

法權ヲ有スルニ至リ司憲官ハ元帥ニ附隨スル司法機關トナレリ後千五百十四年ニハ衛戍地ニアル軍人全部ノ裁判權ヲ掌握シ更ニ各地方ニ分置セララル事トナリ今日憲兵配置ノ遺因ヲナセリ奈翁ハ此ノ兵科ヲ軍ノ精英トシテ折紙ヲ附シタリ而シテ親衛憲兵ハ佛國憲兵ノ代表ニシテ州憲兵移動憲兵其他植民地憲兵等アリ以下主トシテ前視察者ノ報告以外ノ事項ヲ記述ス

第一節 親衛憲兵

一、親衛憲兵ノ略史 親衛憲兵隊ハ他兵科ト同様軍隊ニ對スベキ赫々タル名譽アル過去ノ歴史ヲ有ス即チ「ダンテツヒ」

「フリードランド」「アルコレア」「ブエルゴゴ」等ニ於テハ巴里市護衛隊ノ名ヲ以テ戰闘ニ參加セリ抑々巴里護衛隊ハ首府ノ秩序ヲ維持スル爲メ奈翁ニヨリ創始セラレシガ程ナク其ノ時代ノ戰闘ニ參加スルノ止ムナキニ至レリ

1 「ダンテツヒ」ノ戰闘 「ダンテツヒ」要塞ノ救援ニ來タレル普國ノ同盟國露國軍ハ數回ノ襲撃ヲ試ミシガ護衛隊ハ勇敢ニ抗戰シテ大ニ武勳ヲ現ハシ露軍ハ幾度カ砲臺ノ直下マデ進撃シ來リシモ守兵ノ爲メニ一步モ之レヨリ前進スルヲ得ズ此ノ顯著ナル行動ニヨリ叙勳セラレタリ

2 「フリードランド」ノ戰闘 「ボメラニー」地方ノ普國ノ都市「フリードランド」ニ於テ「ナボレオン」ハ激戰ノ後ニ露軍ヲ擊退セリ巴里護衛隊ノ二ヶ大隊ハ敵騎ノ絶間ナキ襲撃ニ勇猛ニ抵抗シ同夜叙勳ヲ以テ其ノ功ヲ表彰セラレタリ

3 「アルコレア」ノ戰闘 「アルコレア」ハ西班牙ノ「アンダルジ」地方ノ一村落ニシテ一八〇八年六月七日西班牙軍ノ防戰ヲ擊破スル爲メ護衛隊ノ各六隊ハ突撃銃隊ノ先頭ニ配置サレテ「アルコレア」ノ橋梁ヲ奪取セリ此ノ武勳ニヨリ表彰セラレ

4 「ブエルゴゴ」ノ戰闘 「ブエルゴゴ」ハ同ジク西班牙北部ノ舊「カスチル」地方ノ都市ナリ一八一二年九月ノ末ニ二千ノ佛軍ガ駐屯シアリシガ其内ニ護衛隊ノ一大隊アリ西班牙ノ同盟國タル英國ノ「ウエリントン」將軍ハ此ノ地ノ要塞ヲ包圍シ三十三日間二千ノ佛軍ハ五萬ノ包圍軍ニ對シテ勇敢ニ防戰シ増援軍ノ到着ト共ニ要塞ノ包圍ヲ解クニ至レリ此ノ赫々タル防戰ノ光榮ハ實ニ第一帝國ノ戰功トシテハ最モ著名ナル事績ノ一ト云ハザルベカラズ

5 一八七〇年夜 巴里ノ包圍間護衛隊ハ巴里ノ防禦ニ任ジ且ツ衛戍軍隊ノ出撃ニ參加セリ

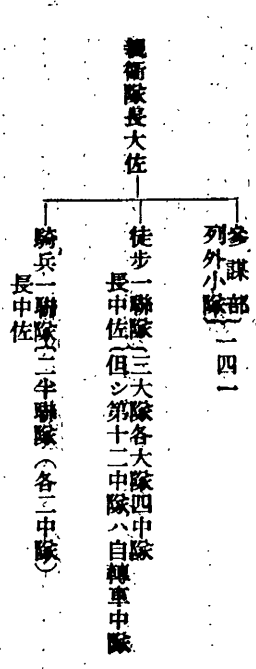
0608

6

一九一四—一九一八年戰役 大戰間ニ於ケル功績ニ就テハ既ニ軍事警察雜誌上ニ詳記シタルヲ以テ略記スルニ止ム此ノ聯隊ハ正式ノ動員ハ豫知ザレザリシガ之ハ巴里ノ警備ノ必要ヲ認メタル故ニシテ開戰當初ノ戰況ハ第一線ニ直接參戰スル機會ヲ許セリ即チ「マルヌ」戰後隊長ノ切望ニヨリ陸軍大臣ハ步兵各聯隊ノ戰死セル幹部ノ補充ヲ此ノ聯隊ヨリ行ヘリ初メハ將校二三下士以下五〇〇名ガ異常ノ歡喜ヲ以テ出戰シ後ニハ將校六五下士以下六〇〇名ニ達セリ而シテ下士二八七名ハ將校ニ昇進シ將校二、下士以下一九二名戰死セリ「レジヨンドノール」叙勳者六三、「メダイユミリテール」七二八名内二五三名ハ「ブルドルラルメ」ニ叙セラレタリ以テ如何ニ親衛隊員ガ奮闘セシカラ知ルニ足ラン

二、親衛憲兵ノ目的任務 親衛憲兵聯隊ハ軍殊ニ國家憲兵ノ一部ニシテ秩序ノ維持法律勅令警察命令等ノ施行ノタメ責任アル正當官憲ノ區署シ得ル永久の巴里ノ兵力ナリ此ノ精英ハ其ノ服裝其ノ態度軍紀ニ於テ諸軍中ニ傑出シアリ儀仗送迎等ノ光榮ヲ擔フ其ノ勤務上ノ特性ニヨリ陸軍大臣内務大臣司法大臣等ノ指揮ヲ受ク

三、編成



將校八一(内軍醫四、藥劑官一、獸醫二、樂長一)、徒歩憲兵一九九二、乘馬憲兵七七六、徒歩中隊ハ大尉一、中尉二、下士以下一六六、乘馬中隊大尉一、中尉四、下士以下一九四トス階級別(佛國憲兵ハ全部伍長以上)ハ、1 憲兵生徒(伍長又ハ伍長以上ノ下士ナルモ教育小隊ニアル間ハ伍長ノ階級)、2 憲兵(伍長)、3 軍曹、4 曹長、5 特務曹

第三編 佛國憲兵警察制度

三九

0609

長トス

四〇

三、採用條件

1 現役又ハ在郷軍人ハ其ノ兵種ノ如何ヲ問ハズ志願スルコトヲ得在營中ノ者ハ團隊長ヨリ上申ス採用前歸郷スル者ニシテ採用ヲ希望スル時ハ候補者タルコトヲ其ノ復歸スル管區ノ憲兵分隊長ニ通報スルコト又歸郷シタル時ハ憲兵分隊長ヲ經由州憲兵隊長ニ申告スルヲ要ス

2

能力 徒歩隊ハ身長一、六六以上乗馬隊ハ一、六八以上、品行方正、學力ハ讀書算術ニ通ズルコト、獨身者又ハ子供ヲ有セザル寡夫、年齢二五歳以上四〇歳マデニシテ五五歳マデ勤務スルコトヲ條件トス憲兵生徒ハ同一條件ニテ二歳ヨリ但シ憲兵ノ任命ハ法定年齢二一歳ニ達スルコト、少クトモ憲兵隊ニ六ヶ月ノ實務ニ服シタルコト、規定ノ教育ヲ受ケ又技術證明書ヲ得タルコトヲ要ス

四、宣誓

職務上ノ宣誓ハ其ノ職務上ノ義務ヲ誠實ニ達成スベキコトヲ確定スル儀式ナリ親衛隊員ハ州憲兵ト同様任官ノ際辭令書ノ餘白ニ記載シアル次ノ書式ニヨリ宣誓ヲ爲ス

「勤務ニ關シ命セララルル事ハ總テ上官ニ服従スルヲ誓フ又職務中法律ノ執行ト秩序ノ維持ノ爲メ依托サレタル場合ノ外公力ヲ使用セサルコトヲ誓フ」

此ノ宣誓ハ公式ニ儀式ニ立會スルセイ又區裁判所第一部長ニヨリ受理セラレ法律的効力ヲ生ズ宣誓スル憲兵ハ其ノ充タズベキ行爲ノ重要性ヲ自ラ省察スルヲ要ス又其ノ同胞ニ對シ重大ナル權利ヲ與ヘラレタル宣誓公務員ノ資格ヲ忘レザルコト、此ノ法律的ノ行爲ノ内ニハ眞實ヲ報告スルコトヲ含ム眞實トハ其ノ見聞セシコトヲ正確ニ報告スルコトナリ報告正確カク隱匿カハ實ニ人ノ生死ニモ亦名譽ニ關スルガ故ニ慎重ナルヲ要ス

五、各官憲トノ關係

A 軍官憲トノ關係 1 親衛憲兵ハ直接巴里總督ノ指揮下ニアリ巴里衛戍司令官ハ總督ヲ輔佐シ其ノ委任ニヨリ諸兵種ノ指揮ニ任ズ、2 憲兵第一檢閱區檢閱官タル中將ノ監督下ニアリ、3 儀仗勤務ニ關スル命令ハ衛戍勤務ニ關スル規定ニヨリ發セラル特種ノ場合ニハ巴里市中ニ關スル時ハ巴里衛戍司令官ヨリ與ヘラル、4 親衛隊ノ職員ハ他兵科ノ上官ニ對シテモ直屬上官同様服従スルヲ要ス、5 服務中ノ憲兵ハ軍人精神ヲ其ノ態度ニヨリ認メラ

ルヲ要ス

B 地方官憲トノ關係 (イ) 行政官憲 内務大臣ハ行政官憲ノ最高權者ニシテ國內ノ安寧秩序ノ維持法律規則ノ施行ヲ負擔ス。巴里ニ於テハ此ノ職務ハ警視總監ノ負フ處ナリ。親衛憲兵ハ其ノ指揮ヲ受ク。秩序維持ノ勤務中ハ警察官ト共ニ勤務スル場合アリ。但シ其ノ指揮下ニ入ルコトナキモ正服用ノ時ハ敬禮ヲ交換スベキナリ。

(ロ) 司法官憲 憲兵ハ地方裁判所檢察正及其ノ代理者、初審裁判所檢察事及其ノ代理者、豫審判事、治安裁判所判事、裁判所ノ勤務中ハ裁判所職員ノ各司法官憲トハ常ニ連絡スベシ。

(ハ) 親衛憲兵ノ出動ヲ請求シ得ル諸官憲 1 上院議長又ハ守衛長、2 衆議院議長又ハ守衛長、3 「セーヌ」縣知事、

4 警視總監、5 重罪裁判所長、6 裁判所長、7 檢事總長及其代理者、8 檢事及其ノ代理者、9 豫審判事、

治安裁判所判事、辯護士、10 市長及助役、11 警視、特別警視

六、親衛憲兵ノ勤務 勤務ハ通常勤務ト臨時勤務ニ分ツ

A 通常勤務ハ毎日又ハ周期的ニ軍又ハ他ノ官憲ヨリ永久的ニ請求セラレ實行スル勤務ナリ

1 警備(衛兵) 勤務ハ巴里衛戍司令官ヨリ命ゼラルル勤務ニシテ左ノ如シ

(1) 名譽哨所—エリゼ宮、上院、パアレプールの、陸軍省、(2) 其他ノ哨所—佛蘭西銀行、裁判所、大藏省、屠殺場、家畜市場、市役所、公設質屋、陸軍病院

2 取締勤務 (1) 裁判所勤務 永久的ニ毎日派遣スルモノ法廷ノ各種勤務、被告人ノ監視誘導、逃走ノ防止、豫審

廷ノ監視、指紋採取勤務、施療勤務、(2) 軍法會議ノ取締

3 外部勤務 取引所、兵營ノ衛兵勤務、市場開帳、劇場勤務、競馬場取締等

B 臨時勤務トハ儀仗又ハ秩序維持ニ關スル勤務ニシテ特別ノ請求又ハ命令ニヨリ行フ

1 名譽勤務 外國ノ君主等巴里到着ノ際大統領ノ官邸招待會、上院衆議院又ハ市廳等

2 秩序維持ノ勤務 警視總監ノ請求ニヨル勤務

祭日又ハ歡樂日等示威運動同盟罷業騷擾等ニ際シテモ行ハル
以上ノ外司法警察官吏トシテノ任務ヲ有ス

七、親衛憲兵ノ裝備 左ノ如キ兵器ヲ有シ威力ヲ附シアルニ注意スベシ

- 1 騎銃、2 自動拳銃(七六m五)、3 手榴彈、4 重機關銃、5 一九二四年式輕機關銃、6 瓦斯マスク

八、特別參謀部及憲兵學校職員定員外幹部並ニ親衛憲兵ノ總數
特別參謀部 大佐二、中佐二、少佐二、大尉二、中少尉二、特曹一、軍曹三
憲兵學校職員

定員外幹部大佐一、少佐二、大尉八、中少尉二六

親衛憲兵 大佐一、中佐二、少佐五、大尉二四、中少尉四〇、相當官二一、(乘馬)特曹二一、軍曹一〇一、親衛兵
六五六、徒歩一特曹三九、軍曹三四四、親衛兵一七四〇)

第二節 移動憲兵

移動憲兵ハ一九二七年佛國陸軍編制改正ノ結果新設セラレン憲兵ノ新ラシキ一部ナリ一九三〇年末四ヶ聯隊完成シ更ニ毎年
増設十ヶ聯隊兵員一萬五千ニ達スル豫定ナリ

一、聯隊ノ編成 1 聯隊三乃至四大隊、隊長大佐一、附中佐一、主計少佐一、主計大尉一、同中尉(材料係)一、2 大
隊三、中隊長少佐一、3 中隊三、徒歩小隊又ハ乘馬小隊或ハ混成ノモノアリテハ長大尉一、4 小隊(長中少尉時トシテ
特務曹長)人員四〇名、分隊長四(特曹、曹長、軍曹)

小隊員ノ區分 徒歩(書記一、自動車操縦手一、同助手一、看護手一、喇叭手二、自轉車手四、列兵二六)乘馬(徒歩小
隊ノ自轉車手ナク蹄鐵工二トス)全部完成マデハ大隊及中隊數ハ正規ニ合シアラズ而シテ從來ノ移動小隊ハ皆十聯隊編
成内ニ入レ編成セラレタルヲ以テ今日獨立ノ移動小隊ハ存在セズ

二、憲兵ノ任務 1 安寧秩序ノ維持―戰列兵ヲ國內事件ニ使用セザル爲メ此ノ憲兵ノ最も重要ナル任務ナリ、2 衛戍勤

務(土地ノ警戒)、3 儀仗勤務又ハ儀仗隊、4 他憲兵勤務ノ援助(實地教育ヲ兼ヌ)、5 青年ノ體育ノ指導ニ任ズ
(軍事豫備教育)、6 教育(學科ノ外乘馬)、7 新馬ノ調教

右ノ外戰時動員部隊ノ幹部ノ供給ヲナス平時職務中最モ重要ナルハ秩序ノ維持ニシテ勞動爭議ノ群衆ノ取締等ニハ常ニ
出動シアリ又全憲兵ノ教育補充機關トシテノ任務ハ主要ノモノニシテ教育手簿及勤務手簿ヲ有シ懇切ニ指導シナリ

三、移動憲兵ノ配置 目下主トシテ大都市及工業地帯等ヲ主トシテ有力ナル部隊ヲ配置シ單ニ一小隊ヲ駐屯セシムル處アリ
要スルニ分散配置ヲ取りアリ第一聯隊ノ二ヶ大隊ハ巴里周圍ノ舊砲臺ノ位置ニ分屯シアリテ主トシテ巴里近在ノ勞動爭
議ニ應ジ得ル配置ヲナシ巴里衛戍總督ノ指揮下ニアリ

四、移動憲兵ノ裝備 1 各中隊ニハ出動用自動車三臺ノ備付アリ

2 各憲兵ノ携帶兵器 イ、騎銃、ロ、自動式拳銃、ハ、輕機關銃、ニ、手榴彈、ホ、鐵兜(爭議騷擾等勤務ノ際用ユ)
ヘ、防毒覆面(平時ヨリ常ニ練習シアリ)、ト、乘馬徒步者共ニ革脚絆ヲ用ユ

五、移動憲兵ノ兵力 大佐四、中佐四、少佐一四、大尉四九、中少尉一七四、相當官一二、乘馬一〇四、軍曹三二二、
憲兵三七四、徒歩一特曹七〇、軍曹二二〇、憲兵二五一〇、特別幹部一六六、以上總計七、三三三名

第三節 州 憲 兵

州憲兵ハ佛國憲兵ノ中堅ニシテ純然タル警察務本位ニシテ全國各軍團管區ニ一聯隊ヲ置キ軍團ト同一番號ヲ附シアリ外ニ巴
里聯隊、「アルサスローレン」聯隊、「モロツコ」聯隊、「チユニス」中隊等アリ總員二萬四千餘ヲ算シアリ

一、州憲兵聯隊ノ編成 憲兵聯隊本部(長大中佐、軍團司令部所在地)、聯隊ハ二乃至四ヶノ中隊ヨリナル、中隊長ハ少佐
(州ノ首都ニ位置ス)、中隊ハ二乃至三個ノ小隊ヨリナル長大中尉時トシテ少尉、郡ノ首都ニ位置シ其ノ名ヲ冠ス小隊ハ
數個ノ班ヨリナリ各班ハ憲兵ノ第一線ニシテ五名乃至八名トス憲兵班ハ町村ニ位置ス其ノ編成ハ徒歩或ハ乘馬時トシテ
混成徒歩者ハ全員自轉車ヲ有ス聯隊、中隊、小隊ノ位置ニハ數個ノ各部下隊、班ヲ集結ス茲ニ注意スベキハ一九二六年
十月一日ヲ以テ獨立セシ海軍憲兵ヲ廢止シ州憲兵ニ併合シタル結果將校以下ハ其階級定年ヲ以テ州憲兵各隊中ニ編入セ

第三編 佛國憲兵警察制度

四三

1130

0613

ラレアリ現在ハ前述憲兵班中ニ海軍班或ハ海軍哨等アリ服装等モ同一ナルモ帽子ニ鍔ノ帽章ヲ附スルヲ異ナリト

二、州憲兵ノ兵力(同類似憲兵)

- 1 州憲兵二十個聯隊(大佐)一〇、中佐二二、少佐四〇、大尉二七二、中少尉一五四、相當官四四、乘馬(特曹一九四、軍曹二二〇五、憲兵五六七八)、徒歩(特曹四三八、軍曹二七四五、憲兵一三二七七)、特別幹部一五一、以上總計二四一四〇名

- 2 「ザール」地方憲兵、大尉一、徒歩下士二二

- 3 北部亞弗利加憲兵、大佐一、中佐二、少佐九、大尉一五、中少尉一五、相當官四、乘馬(特曹三六、軍曹二四五、憲兵一八六)、徒歩(特曹二一、軍曹六三、憲兵三二二)

- 4 植民地憲兵、大尉七、中少尉一五、乘馬(特曹一六、軍曹六五、憲兵二五一)、徒歩(特曹八三、軍曹四一三、憲兵三二四)

三、州憲兵ノ任務

- 1 行政、司法、軍事各警察、2 動員召集業務、3 豫備兵ノ管理、4 壯丁ニ關スル警察、5 管

區ノ秩序維持

右ノ任務ハ地方ニ於テハ五名ノ憲兵ニテ任ジアリ都市ニ於テハ數個班ノ人員ヲ以テ活動シアリ殆ンド小隊長以下外部ニ活動シアリ

動員召集事務ニハ專任憲兵ヲ任命シアリ又在郷軍人ノ管理ト壯丁ニ就テハ常ニ其ノ所在ヲ明カニスル爲メ査察ヲ周密ニ

シアリ秩序維持ニ就テハ遊動憲兵ノ組織ニヨリ輕減セラレタル如キモ實際ハ州憲兵不斷ノ査察ノ結果擾亂ノ前徴ヲ發見セバ機ヲ逸セズ之レヲ當局者ニ致シ又秩序維持ニ必要ナル應急手段ヲ講ズルコトハ依然其任務ナリ

四、州憲兵ノ補充

1 將校ハ遊動憲兵隊ヨリ優秀者ヲ轉入セシム州憲兵ノ將校ハ將校ニ關スル事項ハ自ラ調査査察ニ任ズル規定ニテ部下憲兵ト同ジク自ラ一週ノ大部ハ之レニ消費シ名實共ニ憲兵活動ノ第一線ナリ

2 班長以下ハ遊動憲兵隊ヨリ嚴選シテ補充スルヲ以テ眞ニ優秀ナル分子ノミナリ
五、州憲兵ノ教育

(一) 聯隊長ノ任務 1 聯隊長ハ憲兵ノ修得スベキ智識ニ就キ科目ヲ示ス而シテ此ノ科目ハ軍事教育ト特別教育ノ進度ナリ、2 聯隊長ハ將校ノ職務上及一般的教育ニ關シテハ自ラ之ニ任ズ、3 聯隊長ハ部下ノ研究、講學心ヲ獎勵鼓舞スル爲メ作業ヲ科スルコトヲ得、4 聯隊長ハ戰時ノ必要ヲ顧慮シテ部下將校ニ馬術及體育ノ實行ニヨリ必要ナル活力ヲ保持セシムル爲メ自ラ範ヲ示スベシ

(二) 中隊長ノ任務 中隊長ハ主トシテ小隊長ノ指導スル教育ノ實施ヲ監督ス之ガ爲メ毎月ノ進歩ヲ點檢ス

(三) 小隊長ノ任務 小隊長ハ實地教育ノ意味ニ於テ其ノ指導スル軍事教養及職務上ノ教育ニヨリ其活動ノ完成ニ資スルヲ要ス憲兵ノ高潔ナル實務、其擁護スベキ利害ノ重要、憲兵ニ必要ナル軍紀智識及實力ハ此ノ教育ノ基礎ヲナス小隊長ハ聯隊長ノ一般ノ指示ニ基キ中隊長ノ認可ヲ得テ毎月時間ヲ使用シ詳細ニ進度ヲ立案ス進級ノ爲メ各階級ノ候補者ヲ練成シ指導シ又其能力ヲ完成シ精神的價値ヲ發揚スル手段ハ特種ノ考案ヲ要ス各班長ヲシテ其部下ヲ指揮統御スル必要上精神ノ圓熟ト判斷ノ正確堅實ナル性格ヲ鍛鍊セシムルヲ要ス小隊長ノ言動ハ特ニ新參者ヲシテ感得セシムルヲ要シ彼等ヲシテ軍人精神ヲ涵養セシメ勤務ノ趣味、紀律、秩序ノ正確ヲ習慣セシムルコト又總テノ機會殊ニ外部勤務ノ際ニ於テ部下ヲ懇念シ彼等ヲ激勵スル機會ヲ逸セザルコト又彼等ヲ教示シ助言シ自ラ正義ト懇切トヲ以テ彼等ヲ遇スルヲ要ス(教育規定)

以上ノ如ク憲兵ノ教育ハ小隊長ノ實務ヲ最モ重要トス實際ニ於テハ精神教育ヲ主トシ學科ハ自習ヲ本位トシアリ中隊長以下ノ部下ノ勤務監督ハ大ニ精勵シアリ自動車ハ之レガ爲メニ使用シアリ

六、各省大臣トノ關係 憲兵ハ陸軍大臣ノ部下ニアルモ其勤務ニ關シテハ各省大臣ノ指揮下ニアリ其ノ關係事項次ノ如シ
陸軍大臣 編成、動員、指揮監督、勤務規定ノ實施、採用、昇進、休暇、轉任、免職、退職、軍事賞與、軍事及專門教育、軍紀風紀、服裝兵器、憲兵班ノ位置、被服給與、豫算、檢閲、豫備役者ノ管理、軍事豫備教育勤務、衛戍勤務、軍

警察、軍司法警察等

- 2 内務大臣 行政警察、秩序ノ維持、公衆行政ニ關スル法律規則ノ施行、一般警察、國家ノ安寧、前科者、乞丐、浮浪人、無賴漢、行動不審者、間諜、假出獄者、被追放者、滞在禁止者、外國人、憲兵ノ豫算、普通警察賞與
- 3 司法大臣(佛國及北部亞弗利加) 司法警察、司法警察官タル將校及班長補助司法警察吏、「モロツコ」ニアル憲兵班長ノ特別司法勤務、受托裁判事務
- 4 海軍大臣 海軍ノ單獨者ノ監視、海軍ノ逃亡、不應召者、軍港地漁業、憲兵海軍班ノ勤務
- 5 植民大臣 植民地ノ全勤務就中司法勤務、植民地部隊ノ管理、徒刑囚ノ追躡、移民地ヨリノ犯罪遷送者護送、植民地ノ刑設備ノ行政及警察
- 憲兵ハ以上ノ外更ニ各大臣ト共同援助ノ任務ヲ有ス即チ次ノ如シ
- 6 農務大臣關係事項 森林法、森林ノ保護、森林火災、狩獵及漁撈、農業ノ保護、家畜傳染病勤務、獸醫警察
- 7 勞働衛生關係事項 外國勞働者、職工ノ監視、醫師、藥劑師、齒科醫、外國人產婆ノ佛國ノ許可證ナキモノノ監視、藥物及分鏡ノ不當使用、勞働法ニ關スル普通司法ト軍司法警察官ノ推理、勞働ノ自由、傳染病勤務、公衆衛生
- 8 勞働大臣 鐵道警察鐵道及旅客ノ保護、道路、交通、作業場、内地航行、沿岸ノ漁業、飛行港及飛行場ノ監視、航空警察、若干ノ憲兵班ニ托サレン航空氣象觀測
- 9 大藏大臣 政府ノ收入ト此ノ收入官吏ノ保護、密輸入ノ檢舉、酒類ノ專賣、公告及印紙法、科料金ノ取立、自動車、自轉車、乗合及借馬車ノ權利、各種國稅法ノ施行、特許商業登記、繪端書、火藥煙草、發光器、自働販賣器等
- 10 通信大臣 電線ノ保護、無電所ノ監視、信書ノ傳送
- 11 文部及美術大臣 名所及歴史の建築物ノ保護、通學ニ關スル教育法ノ施行、無許可ニテ入學又ハ教授スル外國人監視
- 12 商工大臣 商工業ノ自由ノ保護、商業カード、職業別カードノ調査
- 13 恩給大臣 恩給ノ調査、救護

0616

2130